

京古本や往来

京洛書肆の考現学

林屋辰三郎

昨年春、京都古書研究会が生れ、季刊誌「京古本や往来」はきわめて順調に発行されている。それは同業の協同組合に基づいておきながら、商品の古本を研究の対象にするという熱心な方たちの集まりである。この会員の眼は、学問・趣味の対象として古本を眺めるわたくしたちと少しも変わらないばかりか、商売ということも加わるから、おそらくいつそう真剣とならざるを得まい。趣味と実益を兼ねるというよりも、研究と生活が重なっている寄合いである。

こうして古書研究の高まりのなかに、今年六月、脇村義太郎先生の「東西書肆街考」が生れた。岩波新書というてがるな形であるが、その内容は京洛と神田の古本屋町の考現学である。とくに京都となるとなつかしい。脇村先生もふれて下さっているが、わたくしもか

つて「京の古本屋町」という小文を拙い随筆集『歴史・京都・芸能』(朝日新聞社刊)に収めたことがあるが、それは全く散歩道としての感想を述べたまでであった。先生は江戸時代慶長・寛永期の書肆の出現から説き起して、明治・大正・昭和三代の変遷が、地図入りで詳しく説き明かされている。その背景には先生のご専攻の経済史である。京都の豪商角倉了以父子が、慶長八年(1603)十月の安南国渡航に当って、安南国に遭ったことは、京洛書肆街が、現在も薬種商の集る二条通の鳥丸以東にはじまつたという一節である。

そのなかでたいへん興味深く思つたことは、京洛書肆街が、現在も薬種商の集る二条通の鳥丸以東にはじまつたという一節である。岩波新書というてがるな形であるが、その内容は京洛と神田の古本屋町の考現学である。とくに京都となるとなつかしい。脇村先生もふれて下さっているが、わたくしもか

であつたら、これを大手筋とすると、都市の構造は九〇度の転換をすることになったのである。西の二条城に対して、東には淀川を経て大阪に通ずる高瀬川の一の船入がある。この新しいメインスト

リートの商店が、烏丸附近の薬種業と、烏丸以東の書籍業の二つによつて代表されることになる。

興味を惹いた理由は、実はぼ

のところ隆盛になつた朱印船貿易の二大商品がこの二つであったことである。京都の豪商角倉了以父子が、慶長八年(1603)十月の安南国渡航に当つて、安南国に遭つた書には、「このたびの交易の要は専ら書籍・薬材に在ります。

京都にかぎらず、全国的な都市の再開発によつて、年々月に都市の景観は変化しつつある。わたくしは埋蔵文化財の保存のために考古学も必要だが、それと同じくらい現代の景観を記しとめる考現学の意義を思うのである。脇村先生の「東西書肆街考」は、まさに日本の文化の考現学として、たいせつなお仕事であったと思う。

載して帰つた新奇な書籍・薬材は、

著書 現京都国立博物館長
『東西書肆街考』元京都大学教授
以前『古代國家の解体』他

季刊号 第6号 京都古書研究会発行
〒604 京都市中京区東洞院六角上ル
京都府古書籍商業協同組合内
振替 京都22240円
年間購読料 (送)

第3回「古本まつり」ご案内

古本供養と青空古本市

とき: 11月2日(金)~4日(日) 午前9時半 ~ 午後4時

ところ: 京都市左京区「百万遍知恩寺(市バス「百万遍」下車すぐ)

• 詳細は7ページをごらん下さい。

ランク・Cランクに位づけされた俳諧師は腹が立ったにちがいあるまい。もっとも、Aランクに入っている俳諧師にして、この評判記の著者に感謝することはないだろう。俳諧師は天狗だから本人はそれを当然のこととして受取るにちがいはあるまい。案の定、天神にランクされた一人、北条團水といふ俳諧師が激怒した。團水は井原西鶴の弟子で、西鶴の没後に大坂の西鶴庵に入り、その一代目になつた男である。浮世草子の作者としても知られている。天神は遊女位では太夫の次であるから、團水はBランクの俳諧師だと評価するのである。そこで團水は同じく井筒屋庄兵衛の店から『花見車評判 鳴弦之書』といふ一書を刊行して、この『花見車』を真向から批判した。鳴弦といふのは弓の弦を鳴らして狐・狸や化物を調伏したたきのめしてやろうというのである。その書き出しの文に曰く。

「元禄十五年三月、京極通、

説諧書林井筒屋重勝ガ店ヲ見レバ、花見車ト云フ書アリ。縦テコレヲ見レバ、京・江戸・大阪ノ宗匠ヲ始メ、國々ノ好土ノ好惡ヲ彼ノ傾城ノ太夫・天神・鹿・局ニ比シ、白人・巾着・妾・骨比丘尼等ニ准エテ褒貶ヲ評判シ

ランク・Cランクに位づけされた俳諧師は腹が立ったにちがいあるまい。もっとも、Aランクに入っている俳諧師にして、この評判記の著者に感謝することはないだろう。俳諧師は天狗だから本人はそれを当然のこととして受取るにちがいはあるまい。案の定、天神にランクされた一人、北条團水といふ俳諧師が激怒した。團水は井原西鶴の弟子で、西鶴の没後に大坂の西鶴庵に入り、その一代目になつた男である。浮世草子の作者としても知られている。天神は遊女位では太夫の次であるから、團水はBランクの俳諧師だと評価するのである。そこで團水は同じく井筒屋庄兵衛の店から『花見車評判 鳴弦之書』といふ一書を刊行して、この『花見車』を真向から批判した。鳴弦といふのは弓の弦を鳴らして狐・狸や化物を調伏したたきのめしてやろうというのである。その書き出しの文に曰く。

四、要法寺の出版

今日の二条通りは、寺町から東

は、その西と比べると、少し南に路がつけられていて河原町に通じる。寺町の二条下るところには新刊本屋の若林春和堂があつて、この店は江戸時代から続いた本屋であること(ただし古くは営業場所

の二条の東側一帯が江戸前期は要法寺の境内であったからである。要法寺の南に妙満寺という寺があり、この要法寺と妙満寺との間に小路があつたのである。要法寺は現在、鴨川の東、三条通りの北側に移っているが、日蓮宗の大寺院である。しかし、日蓮宗の寺院であるというだけではなくて、近世初頭にこの寺では出版活動をしていたので文化面で注意されている。

團水は兄事、この作者が轍土なる俳諧師であることの尻尾をつかみ、正体をあばいて見せた。轍土はいい氣なもので、自分は太夫に位づけして、「今の世のはやり太夫だと自画自讃していたのである。だが、この『花見車』があることによって、今日では、元禄期の俳壇の状態がより明瞭に知ることができるのである。

井筒屋は『花見車』・『鳴弦之書』どちらもの版元であるから、團水と轍土とが喧嘩を始めてくれて世間に評判になつて両書が売れればもつける幸ということになるのである。井筒屋庄兵衛の店は、のち二条寺町西入に移り、安永年間まで出版活動を続けた。

要法寺の出版活動については新村出博士、また川瀬一馬博士の詳しい研究がある。この寺の出版物は要法寺版といわれている。これは同寺の一坊である本地院において、同院の日性(円智)が中心となつて行なつた事業である。要法寺版はそのほとんどが木活字版であり、今日知られる最も古い出版物は慶長五年(一六〇〇)三月刊行の『法華經伝記』十巻である。この木活字版(古活字版といわれる)は国会図書館にあるただ一本のみが知られていたのであるが、最近、深草の瑞光寺で元政上人の旧藏本から新しく一本を、私が発見した。文学作品では中世の説話の『沙石集』、軍記物では、『太平記』が要法寺で慶長十年にともに刊行された。

要法寺ではまた、上杉景勝の重臣である直江山守兼続が『文選』六十巻を活字版で刊行せしめた。世にこれを直江版という。

要法寺の出版活動については新村出博士、また川瀬一馬博士の詳しい研究がある。この寺の出版物は要法寺版といわれている。これは同寺の一坊である本地院において、同院の日性(円智)が中心となつて行なつた事業である。要法寺版はそのほとんどが木活字版であり、今日知られる最も古い出版物は慶長五年(一六〇〇)三月刊行の『法華經伝記』十巻である。この木活字版(古活字版といわれる)は国会図書館にあるただ一本のみが知られていたのであるが、最近、深草の瑞光寺で元政上人の旧藏本から新しく一本を、私が発見した。文学作品では中世の説話の『沙石集』、軍記物では、『太平記』が要法寺で慶長十年にともに刊行された。

要法寺ではまた、上杉景勝の重臣である直江山守兼続が『文選』六十巻を活字版で刊行せしめた。世にこれを直江版という。

参考文献

○川瀬一馬『増補古活字版の研究』
○要法寺の開版事業(昭42・12)

○木村徳衛『直江兼続伝』(昭19・6)

(龍谷大学教授)

おわび・第五号掲載の『近世京都の本屋』の文中、次の箇所を訂正しておわびいたします。

三ページ四段目六行七行

正山本・九兵衛という版元の本

訓註 禅林句集 柴山全慶老師輯 定価1,500円送料160円

佛教書取り揃えております
葉書にて御照会下さい。

其 中 堂 振替京都538
TEL.231-2971

〒604 京都市中京区寺町通三条北

古本よもやま話

書籍目録の事

(五)
(続)

若林正治

わが国の目録で一番重要なものの一つに「日本国見在書目録」がある。私達は古典保存会本(大正十四年刊)で見る事ができる。

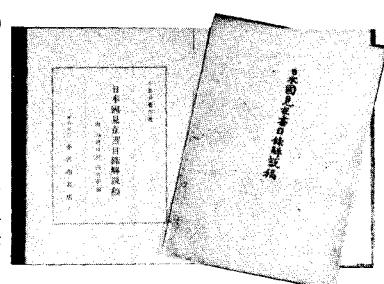
表紙に室生寺とあり第一丁に森立之の朱印、第六丁に大和室生寺、最終丁裏に板倉の丸印がある。又、裏表紙の見返し(表紙第二頁)に高木某の印がある。この人より帝室博物館に寄贈され、ようやく安住の地を得るのである。この本は一時、京都の本屋に出て橋本経亮(梅宮の神主、有職の大家)も見、のち板倉に移る。この間又は他時、一、三の写本が作られた事であろう。揚守敬が古逸書に入れたり、又続群書類從に著録されたもの等と較べて室生寺本が最も原本に近いものとされている。

昭和十一年「日本国見在書目録解説」が出ている。著者は小長谷恵吉、國立にあつた東京商科大学附属図書館内の「くにたち本の会」の出版である。このグループで「書物の周明」という会誌が出ており、その第二回より掲載されたのである。小長谷氏は誠に篤めな人で教師の経験もあり台湾においては諸種の目録を作り帰つて「メンガ」

物に一生懸命であつた。朝日会館横の「江戸正」に本據を置き天理へ醍醐へ、洛中洛外の諸寺、諸大学へとお伴をつれて毎日録画に飛び歩いて居られた。宿での相客は、時に長沢規矩也氏であり、築嶋裕氏であつた。松本さんは御同行者であった。

一誠堂酒井さんの若主人の時もあつた。(慶應大学研究室員として)入洛される都度、宿へ伺い色々の話をしたり会食したりした。勿論酒呑み阿部さん一人の時は仕方なく鳥羽へ行つた事もある。東福寺にある蘇東坡の注釈書(つまり抄物)が何十冊といふ大部なものであつたが慶應が修復を引き受けたというので私が寺へ受取りに行き荷造りして送つた事もあつた。ある時、宿で話していると、明日は東寺へ行くのだが君も一諸に行かないか。といわ

江戸時代の書目を見ると杉浦さんの目録を待つ迄もなく初期の物に刊記のある最初としては寛文十年西村刊の横本二冊が眼につく。そしてもう少し注意すると今少し大型で一冊本ではあるが刊記の無い本がある。普通私達は寛文以前



昭和31年小宮山書店発行
『江戸書林出版書籍目録集成』

近波古書院版「日本書目大成」第一期全四冊が完結している。

「江戸書林出版書籍目録集成」が発行される一寸前位、阿部さんは抄本書籍目録集成「四冊本」又、最

終に「萬治一年十月一日書写卒業快」とある。次に昭和十二年十一月一日、於京都專門学校「新板書籍目録」なるものを萬治一年十月一日書写したものである。

當時私は目録に余り知識もなく、金銭的に蒐集力のない事は前号通り、然し、あこがれていたのは確

かであったから直ぐ数冊領けて戴

（春和堂書店伏見店々主）

（書目的话一応終り）

愛書家の眼

照文堂に意地悪をした話

甲 元 健 雄

照文堂とは先代さんの頃から親しくして頂き、また私が承らく大阪外大で勤めて今のお店赤尾君が外大卒である関係で、われわれの親しさはいよいよ密となり、有難い幸せである。

もう二十年以上も前のこと、創元選書の一つとしてカザミアンの「近代英國」が印行され、その原書が読みたくて丸善に注文したが、「該書は絶版です」との返事があつた。別に丸善を疑うわけではなかったが、一度版元であるデント社に直接当つてみようと思つて同社に照会状を出した。数週間して

大阪外大気付小生宛に丁寧な返事が参つて、「同書は只今絶版になつていて、再版の見込については何とも申しがねます」とのことだ、がつかりして京都へ帰つてきたが、途中照文堂へ立ち寄り洋書の棚を見ていると、背文字も消えた特に汚い本があつたので取り出してみると、水難にでもあったのであるうか、表紙も色褪せ娘が寄り地図でも画いたように染だらけであつた。一体何本であろうかと題扉を開いてみると、何と溢がでるほど

逸る心を抑えながら平氣を裝つて店主に「赤尾君これ汚い本やないか」といつて見せると、「先生お人好ですか」と尋ねてくれるるので、「特に欲しくもないが買つてもいいけど」と澄して答えると、「お負けしますわ」といつて、確かに四百五十円の五百四十円にしてくれたと記憶する。お金を払い、丁寧に本を包んでもらつて、意氣揚々と引き上げた。

周知の通り照文堂の身上は国文学関係書で、洋書はいわば片手間であつたのだから、この本が絶版であることが分らなかつといつて赤尾君の恥でもないし、私もまた何かを暴露する魄胆でこんな昔語りをしているのでもない。只われわれが余りにも親しい間柄であるだけに、別に負けて貰わなくては困ります。あなたの方は何かえらうな事をいう前に商人は商人の道徳を守るべきであり、本はもつと安くすべきであると存じます。それに東京の有名な古洋書店の目録など、新本で安く売つてゐるのに、あたかも絶版の如く扱つたりしています。全く人

欲しかつたあのルイ・カザミアンの「モダン・イングランド」ではないか!

「京古本や往来」第三号拜見致しました。その中で古書は高くないよう書かれていますが、私は日本の古本屋は暴利をむさぼつているとは申しませんが古書価が高すぎると言います。ない本や市場にあまり出ないとなるべらばうな値段をつけます。

こちら辺が私の気にくわないと

ころです。何でも高くすればよ

いと云うものではない筈である。

その点あちらの古本価は安いで

すね。私は日本の古書価は文化の敵だと思っている位です。それ

に、大学やその他の公共団体

の本でも表紙をちぎつて平氣

で売りとばしますし、盗品故売

まがいの事も平気です商人道

徳上許しがたい事を始終耳にし

ます。

現にその様にして何冊か買った

又各種の案内(新刊書案内)等に目

を通す様にしていますが、ご指

の様に現在、まだ出版社にある本

でも絶版と扱う事もまれにあるか

もしれません。その様な時は、お

っしゃつて下さい。其に勉強しよ

うではありませんか。

その為出来るだけお客様と対話し

方のない事です。いくら良い本で

も在庫が多い場合は安く売るのが

経済の方策です。

とも、かくも古本屋は神様、

仏様、超能力者、でもないのです

から、膨大な書物すべてを知れと

注文される事が無理、少しで

も知ろうと終りのない勉強をして

いるのです。古本屋一個人だけで

は知り得る情報は少ないものです。

その為出来るだけお客様と対話し

本屋の事を信用していませんので本

に困ったことです。知つていて

そうしているのであれば、言語道

筋です。

一枚の投書

を馬鹿にしています。人はその古本屋の事を信用していませんので本当に困ったことです。知つていてそうしているのであれば、言語道筋です。

和歌山大学附属図書館

武田光夫



茶飯事なのです。第二に、大学蔵

印等のある本を平気で売り盗品故

売まがいの事も平気」とあります

が、その様な事は絶対にありません

。又、古本屋の棚にもピカピカの新刊書はいくらでもあります。

それは盗品を買つたりしたものでなくして、金融品であり正規のルートにより流れた書籍なのです。

第三に値段の差ですが、それは仕方のない事です。いくら良い本で

も在庫が多い場合は安く売るのが

経済の方策です。

それは盗品を買つたりしたもので

なくして、金融品であり正規のル

ートにより流れた書籍なのです。

それは盗品を買つたりしたもので

なくして、金融品であり正規のル

古本屋の眼

されたかどうかも知らないし、また調べる必要もない。なぜなら、あの見る影もなかつた原書は表丁し直

され美本となつて、私の書店の本棚に鎮座しまつてゐるからである。

(佛教大学英文学科教授)

もちろん値段はついていません。

もちらん値段はついていません。その中で欲しい本があつて、「これ

いくらですか。」とお尋ねになつて

秋の古本まつりご案内

II 古本供養と青空古本市

京都古書研究会では昨年と同じ様「心の糧」本に感謝しよう」と読書週間の一つの行事として

「古本供養」を宮みます。本をこよなく愛し、又思い出をもつて

おられる愛書家の皆様、読書の

秋の一日、知恩寺に集め合し不滅の本に感謝しましょう。

○古本の「寄贈と古本供養」

ご不用になつた本をご寄贈いただけませんか? 本堂にて法要後オーナークションを行ひその純益

金は京都市立図書館(建設中の児童図書購入費として寄贈さ

せていただきます。愛書家の皆様の暖かいお心をお寄せいただ

けますようお願い申し上げます。

とき・十一月二日、三日、四日
ところ・百万遍知恩寺

京都駅より市バス(200)
阪急河原町より市バス(200)

③、いずれも百万遍
下車すぐ

●青空古本市

十一月二日金 三日土 四日日
午前九時半より午後四時まで

●古本供養

セリ市を行います。

○貴方が指値の入札セール

今年より取り入れました入札コーナーです。このコーナーは

全集その他優良品が多數出品されます。お客様の予算に合せて

人札して下さい。(指定用紙に希望価格、住所、氏名。電話番号を記入、その他詳細は掲示)



赤尾照文堂の梨

京都古書研究会では昨年と同じ様「心の糧」本に感謝しよう」と読書週間の一つの行事として

「古本供養」を宮みます。本をこよなく愛し、又思い出をもつて

おられる愛書家の皆様、読書の

秋の一日、知恩寺に集め合し不滅の本に感謝しましょう。

○古本の「寄贈と古本供養」

ご不用になつた本をご寄贈いただけませんか? 本堂にて法要後オーナークションを行ひその純益

金は京都市立図書館(建設中の児童図書購入費として寄贈さ

せていただきます。愛書家の皆様の暖かいお心をお寄せいただ

けますようお願い申し上げます。

とき・十一月二日、三日、四日
ところ・百万遍知恩寺

京都駅より市バス(200)
阪急河原町より市バス(200)

③、いずれも百万遍
下車すぐ

●青空古本市

十一月二日金 三日土 四日日
午前九時半より午後四時まで

●古本供養

セリ市を行います。

○貴方が指値の入札セール

今年より取り入れました入札コーナーです。このコーナーは

全集その他優良品が多數出品されます。お客様の予算に合せて

人札して下さい。(指定用紙に希望価格、住所、氏名。電話番号を記入、その他詳細は掲示)

●貴方が指値の入札セール

入札は古本まつり開催中可能

落札者発表は四日午後三時より

郷土の美術館 —京都—

期の三日間のみ特別展観を行なう。
申込みにより随時開館。

●養源院●

京都府東山区三室間堂前

●鉄眼一切経版木収蔵庫●

宇治市五ヶ庄黄檗山宝蔵院内

重要文化財の鉄眼、切経版木を
収藏し陳列している。

●泉屋博古館●

京都市左京区鹿ケ谷下宮ノ前町三

住友家が今世紀の初めから約二

十年間に収集した中國古代青銅器
等五七〇余点と『図録「泉屋清賞」』正
統十二冊がある。開館毎年十月第
四日曜日から向う一週間。

●河井寛次郎記念館●

京都市東山区五条坂鐘錠町

陶芸家河井寛次郎の作品、陶房、
登窯、コレクションを公開。八月
十日頃より八月二十日頃、十一月一
十四日より一月七日休館。

●古代友禪苑●

京都市下京区高辻通猪熊西入ル
京友禪の出生から現代までの作
品および友禪の制作過程をみせる。

上二月三下二月一日～一月九日休館
○点の一部は、秋の狂言開催（不定

●壬生寺文化財展観室●

京都市中京区坊城佐光寺
壬生狂言面一五〇点、衣裳、六

〇点の一部は、秋の狂言開催（不定
品）

●池 大雅美術館●

京都市西京区松尾万石町毛

日本文人画の大成者、池大雅の
作品および資料を常設展示してい
る。美術館は池大雅の持仏、如意
輪觀世音像を伝え、往昔の「大雅堂」
の再興ともいえる。大雅三十才の書
「金山」、あるいは晩年の名作「柳
下童子図」（重文）の屏風等幼年か
ら晩年にいたる作品、資料約一二
〇点を展示している。年中無休。

古書研究だより

—編集後記—

「青空古本市」
に新顔！

今年の「青空古本市」に、臨川
書店、「沢田書店」、「其申堂」の
三店が新しく参加されます。各
店、趣向を凝って、お客様にサ
ービスするつもりです。秋の読
書シリーズ一冊でも心に残る
本をお買い上げ下さい。

●仁和寺靈玉館●

京都市右京区御室大内三
眞言宗御室派の大本山仁和寺の
宝物を収蔵。仏像、仏画、宸翰、
古文書、上品を主とし、国宝、
重要文化財が多数ある。国宝指定
の聖教三帖冊子、絹本着色孔雀
明王像、紙本墨書き御室相承記、宝
相華絵金珠箱などが名高い。

毎年十月一日～十五日まで公開。
●北野天満宮宝物殿●

京都市東山区北野天神跡起をはじめ重文
の日本書紀、絵画、文書、太刀など
社宝多數を収蔵、陳列されてい
る。毎月二十五日開殿（雨天を除
く）

●龜岡市温古館資料室●

龜岡市吉川町龜岡市青少年センター内
龜岡市周辺の遺跡（グンゼ・車塚・
坊主塚・北金岐古墳群・西山古墳群）
より出土した考古資料を中心には
丹波・武藏の周辺の古瓦・幕末資
料等。毎週日曜日・祝日休館。

私たち「京都古書研究会」の
メンバーは、総力を集結して京
都関係の書籍を集めた目録を作
成しようとしています。貴方の
お手元に御用済の京都関係の書
籍等、ございましたら研究会に
贈呈して下さい。京都府に関係しま
す書籍でありますようお
願い致します。

即 売 会

近鉄百貨店第四回 古書即売会
十一月二十日～十一月三十日

第七号は

いんふおめーしょん

定期購読続々希望の方へ
年間購読料一四〇円(四回発行)
申込単位 一年以上 年単位
送金方法 郵便振替

(京都二二二三三二京都古書研
究会)を、ご利用下さい。

■編集スタッフ

編集長 藤井 敦
編集チーフ 竹山 勝
沼田 英弥
森下 正三郎
中村俊一
中村正二
竹岡忠郎

発行予定！

来年一月二十日

教

御注文は各書店へ

〒602

京都市上京区河原町今出川上ル

本専門の質屋・買入
株式会社

電話(〇七五)二三一—七七一

善書堂

| | | | | |
|----|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1 | 季刊「銀花」 | 創刊号三十六号 | 三十六冊 | 1,000 |
| 2 | 河童百圖 | 小川芋鉢 | 龍星閣 昭31 べ、000 | |
| 3 | アリエテ | 二冊揃(限定二八〇〇部) | 人文書院 昭41 二、000 | |
| 4 | 佐藤春夫全詩集 | 講談社 昭45 へ、000 | | |
| 5 | 京都の一年 | (西脇順三郎著)池田萬方会編 | 昭47 六、000 | |
| 6 | 食事史 | (初版署名人)山本千代喜 | 龍星閣 昭17 六、000 | |
| 7 | 洒壺の微笑 | (愛蔵版)吉原根繁著(名入)大谷房吉 | 龍星閣 昭17 三、000 | |
| 8 | 「川端康成集」第一巻(芹沢鉢介著) | 改進社 昭9 三、000 | | |
| 9 | 富岡鉄斎 | 正宗得三郎 | 錦城出版社 昭17 六、000 | |
| 10 | 高野山根本大塔壁画と柱絵 | 内田六郎 | 立命館出版部 岩倉公美記 昭2 四、000 | |
| 11 | 歌舞伎絵 | 柳宗悦 | 第一書房 大15 六、000 | |
| 12 | 謡曲及能楽・趣味と名士 | 名家大鑑刊行会 | 大6 二、000 | |
| 13 | 比叡山(その自然と人々) | 比叡山 | 内田六郎 | 立命館出版部 岩倉公美記 昭2 四、000 |
| 14 | 硝子絵 | 双林社 | 昭17 六、000 | |
| 15 | 満洲画帖 | 石田吟札筆 | 中日文化協会 昭6 八、000 | |
| 16 | 雪国の養 | 柳宗悦 | 日本民芸協会 昭17 六、000 | |
| 17 | 藍絵の猪口 | 柳宗悦 | 日本民芸協会 昭17 六、000 | |
| 18 | 香雪斎藏品展観国録 | 藤田男爵家仕係 | 昭9 四、000 | |
| 19 | 雙軒庵美術集成国録 | 成田山開基 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 | |
| 20 | 平井東庵氏郎藏品入札目録 | 成田山開基 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 | |
| 21 | 北攝岸上家並某家藏品大入札会展観 | 成田山開基 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 | |
| 22 | 高橋蓬庵所藏品入札目録 | 高橋蓬庵 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 | |
| 23 | 時代錦織(古代人形・武具等)展覧会 | 時代錦織 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 | |
| 24 | 三楽庵所藏品入札 | 三楽庵 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 | |
| 25 | 水香庵所藏品入札 | 水香庵 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 | |
| 26 | 説田家藏品展観目録 | 説田家 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 | |
| 27 | 松洞庵小津家所藏品入札目録 | 松洞庵 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 | |
| 28 | 日本古陶磁支那古美術展覧会 | 日本古陶磁支那古美術 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 | |
| 29 | 神戸勝田家所藏品目録 | 神戸勝田 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 | |
| 30 | 山内家所藏品入札 | 山内家 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 | |
| 31 | 村瀬庸庵愛藏品入札並賣立 | 村瀬庸庵 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 | |

| | | | |
|----|------------------|------------|----------------------|
| 1 | マンモスの牙 | 草野心平詩集 | 箱付初版 昭40 二、000 |
| 2 | 鮎川信夫詩論集 | 田中内閣編纂所 | 箱付初版 昭40 二、000 |
| 3 | 田木繁詩集 | 岩倉公美記 三冊揃 | 箱付初版 昭40 二、000 |
| 4 | 西脇順三郎詩論集 | 西脇順三郎 | 箱付初版 昭40 二、000 |
| 5 | 詩学 | 西脇順三郎 | 箱付初版 昭40 二、000 |
| 6 | 発禁詩集 | 秋山清 | 初版 昭45 一、000 |
| 7 | 詩集 河原者の唄 | 唐十郎 | 初版 昭45 一、000 |
| 8 | 夜会服 | 三島由紀夫 | 初版 昭42 一、000 |
| 9 | 不道德教育講座 | 三島由紀夫 | 初版 昭44 一、000 |
| 10 | 三島由紀夫十代作品集 | 三島由紀夫 | 初版 昭46 一、000 |
| 11 | 帝國憲法制定會議 清水伸 | 報徳会総務所 | 昭11 三、000 |
| 12 | 明治染織経済史 石川諒一 | 岩波書店 | 昭15 三、000 |
| 13 | 民権自由黨史 | 織田正誠編 | 大洋堂出版部 |
| 14 | 伏見酒造組合誌 | 長崎由史史出版局 | 昭4 四、000 |
| 15 | 南満洲鉄道株式会社三十年略史 | 伏見酒造組合 | 昭30 三、000 |
| 16 | 報徳会三十五年史 | 報徳会 | 昭11 三、000 |
| 17 | 滿洲画帖 | 報徳会総務所 | 昭11 三、000 |
| 18 | 雪国の養 | 清水伸 | 昭15 三、000 |
| 19 | 藍絵の猪口 | 岩波書店 | 昭15 三、000 |
| 20 | 香雪斎藏品展観国録 | 成田山開基 | 昭17 三、000 |
| 21 | 雙軒庵美術集成国録 | 成田山開基 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 22 | 平井東庵氏郎藏品入札目録 | 高橋蓬庵 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 23 | 北攝岸上家並某家藏品大入札会展観 | 時代錦織 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 24 | 高橋蓬庵所藏品入札目録 | 三楽庵 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 25 | 水香庵所藏品入札 | 水香庵 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 26 | 説田家藏品展観目録 | 説田家 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 27 | 松洞庵小津家所藏品入札目録 | 松洞庵 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 28 | 日本古陶磁支那古美術展覧会 | 日本古陶磁支那古美術 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 29 | 神戸勝田家所藏品目録 | 神戸勝田 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 30 | 山内家所藏品入札 | 山内家 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |

| | | | |
|----|---|------------------------|----------------------|
| 1 | マンモスの牙 | 草野心平詩集 | 箱付初版 昭40 二、000 |
| 2 | 鮎川信夫詩論集 | 田中内閣編纂所 | 箱付初版 昭40 二、000 |
| 3 | 田木繁詩集 | 岩倉公美記 三冊揃 | 箱付初版 昭40 二、000 |
| 4 | 西脇順三郎詩論集 | 西脇順三郎 | 箱付初版 昭40 二、000 |
| 5 | 詩学 | 西脇順三郎 | 箱付初版 昭40 二、000 |
| 6 | 発禁詩集 | 秋山清 | 初版 昭45 一、000 |
| 7 | 詩集 河原者の唄 | 唐十郎 | 初版 昭45 一、000 |
| 8 | 夜会服 | 三島由紀夫 | 初版 昭42 一、000 |
| 9 | 不道德教育講座 | 三島由紀夫 | 初版 昭44 一、000 |
| 10 | 三島由紀夫十代作品集 | 三島由紀夫 | 初版 昭46 一、000 |
| 11 | 帝國憲法制定會議 清水伸 | 報徳会総務所 | 昭11 三、000 |
| 12 | 明治染織経済史 石川諒一 | 岩波書店 | 昭15 三、000 |
| 13 | 民権自由黨史 | 織田正誠編 | 大洋堂出版部 |
| 14 | 伏見酒造組合誌 | 伏見酒造組合 | 昭30 三、000 |
| 15 | 南満洲鉄道株式会社三十年略史 | 報徳会 | 昭11 三、000 |
| 16 | 滿洲画帖 | 報徳会総務所 | 昭11 三、000 |
| 17 | 雪国の養 | 清水伸 | 昭15 三、000 |
| 18 | 藍絵の猪口 | 岩波書店 | 昭15 三、000 |
| 19 | 香雪斎藏品展観国録 | 成田山開基 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 20 | 雙軒庵美術集成国録 | 高橋蓬庵 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 21 | 平井東庵氏郎藏品入札目録 | 時代錦織 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 22 | 北攝岸上家並某家藏品大入札会展観 | 三楽庵 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 23 | 高橋蓬庵所藏品入札目録 | 水香庵 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 24 | 説田家藏品展観目録 | 説田家 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 25 | 松洞庵小津家所藏品入札目録 | 松洞庵 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 26 | 日本古陶磁支那古美術展覧会 | 日本古陶磁支那古美術 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 27 | 神戸勝田家所藏品目録 | 神戸勝田 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 28 | 山内家所藏品入札 | 山内家 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 29 | 村瀬庸庵愛藏品入札並賣立 | 村瀬庸庵 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 30 | 田村家所藏品入札 | 田村家 | 明治神宮奉賛會 昭13 六、000 |
| 31 | 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 | 大特価にて奉仕します。一一〇〇〇！ | 一一〇〇〇！ |
| 32 | 江 戸 時 代 図 誌 | 新刊定価四〇、〇〇〇を当店売価二〇、〇〇〇！ | 二十七冊揃 |
| 33 | 新刊定価四八、六〇〇を当店売価二四、三〇〇！ | 二十四冊揃 | |

京都市左京区今出川通百万遍東入
(京都大学前)

井上書店

電話(〇七五)七八一—三三三五二

店

電話(〇七五)七八一—三三三五二

井上書店

電話(〇七五)七八一—三三三五二

下
530

大阪市北区芝田一丁目六番二号

(株)臨川書店 大阪店

振電話
京都三八〇番六四一〇三〇

八木書店古書部

電話(〇七五)八一一一三八九〇

- | | | | | |
|----|------------------|---------------|------|------------|
| 1 | 芭蕉翁肖像 | 石菊宗虎譜 | 一幅 | 吾 一、五〇〇 |
| 2 | 絶対の恋愛（若き恋人への手紙） | 倉田百三 初版 | 昭25 | 一、五〇〇 |
| 3 | 巣立 | 赤松柳史俳画 | 自費出版 | 初版 昭16 |
| 4 | 東洋諸民族の歴史 | 佐々木三治郎 | 初版 | 昭8 |
| 5 | 小学教育論 | 小泉信吉訳 | 初版 | 昭13 |
| 6 | 読書の心理的研究 | 松本亦太郎 | 初版 | 大8 |
| 7 | 勲章の知識 | 齊藤昌司 | 初版 | 一、八〇〇 |
| 8 | 折紙の折方と水引の掛方 | 小笠原流 | 昭4 | 八、〇〇〇 |
| 9 | 日本倫理と日本精神 | 深作安文 | 昭16 | 一、八〇〇 |
| 10 | 武田信玄伝 | 芳賀矢一 | 初版 | 明15 |
| 11 | 詞藻類纂 | 広野広一 | 初版 | 昭16 |
| 12 | 各地特産染物の実際 | 鈴木恒夫 | 初版 | 明40 |
| 13 | チベットの文化 R.A.スタン著 | 山口瑞鳳 初版 | 昭46 | 一、三〇〇 |
| 14 | 若き日の読書と思索 | 市橋善之助 | 昭18 | 二、五〇〇 |
| 15 | 明治大正古書画の研究 | 水谷不例 背傷 | 初版 | 昭8 |
| 16 | 装蹄師講本 | 町田常之助編 | 昭18 | 三、〇〇〇 |
| 17 | 故郷スティーラン | 島田抱月記 | 箱欠 | 一、五〇〇 |
| 18 | 裁縫の榮 | 京都鴨氷会 | 初版 | 昭11 |
| 19 | 国粹禮法 | 久田ワキ 佐世保裁縫女学校 | 初版 | 昭12 |
| 20 | 正岡子規 | 齊藤茂吉 | 初版 | 昭11 |
| 21 | 宗教辞典 | 梅田義彦 | 初版 | 元大 |
| 22 | 国画の形成 | 木村重夫 | 初版 | 昭19 |
| 23 | 評論明治大正の歌人たち | 木俣修 | 昭45 | 一、五〇〇 |
| 24 | 国語国文学年鑑 第二輯 | 久松潛一編 | 初版 | 昭16 |
| 25 | イングランドズ・ヒストリー | 伊藤教授 | 初版 | 一八〇〇 |
| 26 | 大正文学14講 | 宮島新三郎 | 初版 | 大15 |
| 27 | オリンピックと日本スポーツ史 | 鈴木良徳 | 昭27 | 二、五〇〇 |
| 28 | 越佐要覧（新潟佐渡） | 奥付一枚欠 | 昭3 | 一、八〇〇 |
| 29 | 法然上人伝の成立史的研究第一号 | 村田照蔵 伊藤教授 | 昭36 | 一、八〇〇 |
| 30 | 慶應義塾50年史 | 一 | 明40 | 一、八〇〇 |
| 31 | 岸連山筆 | 鶴之図 | 一幅 | 三〇,〇〇〇 |
| 32 | 中村守臣筆（号燕斎） | 南画 | 一幅 | 三八〇〇 |
| 33 | 熊溪東籠筆 | 一幅 | 一幅 | 嘉永年八〇〇 |

- | | | |
|----------|-------------------|-----------|
| 寺井南滄筆 | 鐘鬼之圖 | 一幅 |
| 智忠親王筆 | 古歌三首 | 無署名 |
| 青木月斗筆 | 三昧線圖俳句 | 一幅 |
| 俳人 | 雲中庵肖像画 | 一幅 |
| 斎藤鶯江碑文 | 拓本一幅 | 野田笛浦撰小竹題表 |
| 山崎良顯筆 | 立春和歌 | 一首 |
| 三條大臣実起公筆 | 和歌 | 一首 |
| 如春著筆 | かり渡る國墨絵しみ有 | 一幅 |
| 靈宗和尚筆 | 大黒様之図 | 一幅 |
| 欄齋先生筆 | 一行物 | 一幅 |
| 村田香谷筆 | 岩牧丹之図 | 一幅 |
| 黄璧山管長 | 拍樹子和箋趙州云々 | 一幅 |
| 往阿上人筆 | 6字名号 | しみ有 |
| 沙門秋大雲上人筆 | 法隆寺管長詩 | 一幅 |
| 廬北山人筆 | 贊頤和尚開講了偈 | 一紙 |
| 演山管長 | 天王大方丈文書輪 | 一幅 |
| 福田美橋贊 | 公遵筆鐘鬼之図 | 一幅 |
| 光明真言願文 | 茶香香師筆一行物共箱 | 一幅 |
| 慈眼浙江筆 | 日清戰爭宣戰勅語半和勅御尊影 | 一幅 |
| 慈眼浙江筆 | 道榮画(茶道石州道逸派)俳人四明贊 | 一幅 |
| 谷鉄臣筆 | 塞山子不偽 | 一幅 |
| 伝教大師尊像 | 肉筆彩色 | 一幅 |
| 天路歷程 | 加茂競馬之図 | 一幅 |
| 東坊城綱忠郷筆 | 天滿大自在天神一行 | 一幅 |
| 為恭筆 | 村河清 | 一幅 |
| 新郎新婦 | 池亨吉訖 | 少傷有 |
| 萬呪秘法 | 柴田良太郎 | 汚 |
| 萬呪秘法 | 山村信男詩集 | 明和3 |
| 佐谷等雲齊筆 | 300部限定 | 大水4 |
| 萬呪秘法 | 新坂紫舟 | 明27 |
| 幻の華 | 推尾定吉 | 五、〇〇〇 |
| 本所深川絵岡 | 白蓮 | 八、〇〇〇 |
| 三条實萬公筆 | 尾張屋板 | 五、〇〇〇 |
| 萬呪秘法 | 書翰一通 | 五、〇〇〇 |
| 薪を荷い書読之図 | 虫入 | 五、〇〇〇 |
| 一幅 | 背傷 | 五、〇〇〇 |
| 一幅 | 初版 | 五、〇〇〇 |
| 一幅 | 虫入 | 五、〇〇〇 |
| 一幅 | 安政 | 五、〇〇〇 |
| 大10 | 大9 | 五、〇〇〇 |
| 五、〇〇〇 | 昭4 | 五、〇〇〇 |
| 五、〇〇〇 | 昭40 | 五、〇〇〇 |
| 五、〇〇〇 | 昭5 | 五、〇〇〇 |
| 五、〇〇〇 | 大15 | 五、〇〇〇 |
| 五、〇〇〇 | 明42 | 五、〇〇〇 |
| 五、〇〇〇 | 昭5 | 五、〇〇〇 |
| 五、〇〇〇 | 明3 | 五、〇〇〇 |
| 五、〇〇〇 | 大4 | 五、〇〇〇 |
| 五、〇〇〇 | 昭3 | 五、〇〇〇 |
| 五、〇〇〇 | 大9 | 五、〇〇〇 |
| 五、〇〇〇 | 昭9 | 五、〇〇〇 |
| 五、〇〇〇 | 大10 | 五、〇〇〇 |

〒604 京都市中京区寺町通錦上ル

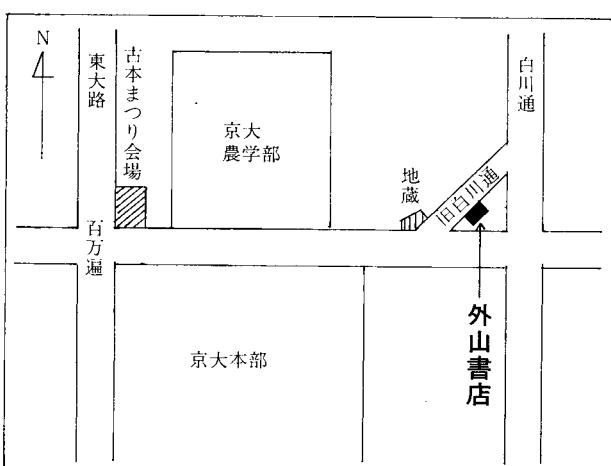
書肆大書

堂

| | | | | | | |
|----------------------|----------------------|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 版画 | 「岩波新書」 | 根附の研究 | 世界の骨董遍歴 | 17 | 16 | 15 |
| 岩波文庫創刊50年記念復刊 | 季刊銀花 第35号 | 特集西洋藏書票図譜 | 上田令吉 | 広田不孤斎 | 小野忠重 | 昭29 |
| （英）ハーヴィード・世界古典大系 | （英）完全なる書物を求めて再版オルカット | （英）書物の愛のために二版 | 昭53 | 昭42 | 昭36 | 昭36 |
| （英）美しい本 初版 ポラード | （英）書物蒐集家の日々 再版ローランバハ | （英）スミス 一九三四年 | 三、五〇〇 | 一、五〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 |
| （英）カクストン—イギリス最初の出版者— | （英）完全なる書物を求めて再版オルカット | （英）スミス 一九三四年 | 五、〇〇〇 | 五、〇〇〇 | 四、〇〇〇 | 四、〇〇〇 |
| 現代言語学 | （英）完全なる書物を求めて再版オルカット | （英）スミス 一九三四年 | 四八〇〇 | 五、〇〇〇 | 四、〇〇〇 | 四、〇〇〇 |
| 明治維新運動の展開 | 周編・マルクス主義文学論 | （英）スミス 一九三四年 | 四八〇〇 | 四、〇〇〇 | 三、八〇〇 | 三、八〇〇 |
| 日本政治の革新 | 社会学辞典（少汚） | （英）スミス 一九三四年 | 二五〇〇 | 六五〇〇 | 二五〇〇 | 二五〇〇 |
| 形式社会学論 | 形式社会学論 | （英）スミス 一九三四年 | 二〇〇〇 | 二〇〇〇 | 二〇〇〇 | 二〇〇〇 |
| 何を読む可きか | ファツツズムの社会観 | （英）スミス 一九三四年 | 一五〇〇 | 一五〇〇 | 一五〇〇 | 一五〇〇 |
| 2卷257810116冊 | 新明正道 奥村喜和男 | 新明正道 有斐閣 | 昭11昭18昭13 | 昭11昭18昭13 | 昭11昭18昭13 | 昭11昭18昭13 |
| 田中惣五郎 | 田島・島田訳 | 昭29 | 昭29 | 昭29 | 昭29 | 昭29 |
| 新明正道 | 昭33 | 昭33 | 昭33 | 昭33 | 昭33 | 昭33 |

〒606
京都市左京区北白川久保田町64の5

- | | | |
|------------------------|------------------|-------|
| 勤く婦人 | 1卷1247 | 4冊昭7 |
| 近代革命の再検討(少線) | 日本政治学会編昭40 | 二、〇〇〇 |
| 美濃部達吉の思想史的研究(少線) | 家永三郎昭40 | 三、〇〇〇 |
| 近藤栄蔵自伝 | 同志社大学人文科学研究所編昭45 | 四、〇〇〇 |
| 近藤栄蔵文庫目録 | 同右昭44 | 三、〇〇〇 |
| 山本宣治関係資料目録 | 上下 | 七、〇〇〇 |
| 外交関係の国際法 | 横田喜三郎昭33 | 三、〇〇〇 |
| プロイントイギリス労働基礎理論 | 片山哲昭33 | 二、〇〇〇 |
| 西尾末広の政治覚書 | 西尾末広昭43 | 三、〇〇〇 |
| 武藤貞一評論集 戰後篇 脱占領体制編(二冊) | 昭38 | 四、〇〇〇 |
| 中立制度の史的研究 | 石本泰雄昭33 | 三、〇〇〇 |
| 外國人による日本の社会 | 岩野晃次郎訳昭44 | 二、〇〇〇 |
| 社会資本と人間関係 | 高島善哉昭48 | 二、〇〇〇 |
| 新資本主義の循環と恐慌 | 小椋広勝編昭44 | 三、〇〇〇 |
| ラコムド・景気予測法の研究 | 松岡孝見訳昭49 | 二、〇〇〇 |
| メンガー・社会科学方法論 | 大内兵衛訳昭50 | 二、〇〇〇 |
| 社会資本と人間関係 | 鶴川虎三訳昭51 | 二、〇〇〇 |
| 新資本主義の循環と恐慌 | 大内兵衛訳昭52 | 二、〇〇〇 |
| ラコムド・景気予測法の研究 | 鈴木小兵衛昭53 | 二、〇〇〇 |
| 支那に於ける金融の特殊性 | 小島昌太郎昭54 | 二、〇〇〇 |
| ワグナーワークス・統計学 | 鉄道省昭55 | 二、〇〇〇 |
| 日満支連絡運輸関係規則 | 鉄道先人録昭55 | 二、〇〇〇 |
| デーヴィース・経済統計綱要 | 日満支連絡運輸関係規則昭55 | 二、〇〇〇 |
| 満蒙資源要覧 | 中国の金融制度 | 二、〇〇〇 |
| 満洲の農業機構 増補版 | パオゼイン支那幣制の性格的研究 | 二、〇〇〇 |
| 印度の民族運動 | 支那に於ける金融の特殊性 | 二、〇〇〇 |
| 鉄道先人録 | 日本大正の金融 | 二、〇〇〇 |
| 満洲のあゆみ | 日本銀行の歴史 | 二、〇〇〇 |
| 水間鉄道50年のあゆみ | 日本銀行の歴史 | 二、〇〇〇 |
| 日本国民性の研究 | 日本銀行の歴史 | 二、〇〇〇 |
| 奈良県報二二七一号(昭18年1月12日)~ | 参考本部編 | 二、〇〇〇 |
| 二三七七号(昭19年4月25日) 内欠19冊 | 金融制度研究会 | 二、〇〇〇 |
| 九州考古学研究(歴史時代編) | 鈴木小兵衛昭48 | 一、〇〇〇 |
| 封建社会の基本法則 | 鈴木小兵衛昭49 | 一、〇〇〇 |
| ソビエト科学アカデミー版・世界史 古代全6冊 | 鈴木小兵衛昭50 | 一、〇〇〇 |
| 歴史科学 合本第一冊2巻3~7号 | 同社 | 一、〇〇〇 |
| 歴史科学 合本第一冊2巻3~7号 | 解放 | 一、〇〇〇 |
| 歴史科学 合本第一冊2巻3~7号 | 大昭 | 一、〇〇〇 |
| 歴史科学 合本第一冊2巻3~7号 | 白揚社 | 一、〇〇〇 |
| 長谷川萬次郎 | 昭22 | 五、〇〇〇 |
| 関屋龍吉 | 昭53 | 五、〇〇〇 |
| 渡辺実 | 昭2 | 五、〇〇〇 |
| 佐藤信衛 | 昭1 | 五、〇〇〇 |
| 教育読本 | 上 | 一、〇〇〇 |
| 近代日本海外留学生史 | 下 | 一、〇〇〇 |
| 西田幾多郎と三木清 | | 一、〇〇〇 |
| 倫敦 | | 一、〇〇〇 |
| 教育読本 | | 一、〇〇〇 |
| 近代日本海外留学生史 | | 一、〇〇〇 |
| 倫敦 | | 一、〇〇〇 |



〒606 京都市左京区田中里前町55

福田屋書店

電話(〇七五)七八一一二三一六

| | | |
|-----------------|--------------------------------|-------|
| 1 中南米音楽 | 9号(54号内九冊欠計137冊)昭28 | 三、000 |
| 2 血と薔薇 | 四冊 天声出版 初版 昭43 | 七、000 |
| 3 幻想と怪奇 | 創刊(5号) 昭48 | 五、000 |
| 4 ユリイカ | (6の9) 昭49 | 一、000 |
| 5 夢野久作全集 | 特集オカルティズム 全7卷(1~7) 昭49 | 五、000 |
| 6 久生十蘭全集 | 全7卷(1~7) 昭48 | 五、000 |
| 7 ボオ全集 | 桃源社 初版 昭45 | 一、000 |
| 8 犬狼都市 | 溝沢竜彦 全3卷 初版 昭46 | 三、000 |
| 9 黄金時代 | 黒魔術の手帖 三刷 溝沢竜彦 初版 昭46 | 三、000 |
| 10 毒薬の手帖 | 毒薬の手帖 二刷 溝沢竜彦 初版 昭46 | 三、000 |
| 11 秘密結社の手帖 | 秘密結社の手帖 三刷 溝沢竜彦 初版 昭46 | 三、000 |
| 12 夢のある部屋 | 夢のある部屋 三刷 溝沢竜彦 初版 昭46 | 三、000 |
| 13 エロティズム | エロティズム 三刷 溝沢竜彦 初版 昭46 | 三、000 |
| 14 ヨーロッパの乳房 | ヨーロッパの乳房 二刷 溝沢竜彦 初版 昭46 | 三、000 |
| 15 胡桃の中の世界 | 胡桃の中の世界 三刷 溝沢竜彦 初版 昭46 | 三、000 |
| 16 人形愛序説 | 人形愛序説 三刷 溝沢竜彦 初版 昭46 | 三、000 |
| 17 嘆きのアダム | 嘆きのアダム 三刷 溝沢竜彦 初版 昭46 | 三、000 |
| 18 光のアダム | 光のアダム 三刷 溝沢竜彦 初版 昭46 | 三、000 |
| 19 腐爛の華 | 腐爛の華 三刷 溝沢竜彦 初版 昭46 | 三、000 |
| 20 中井英夫著「惡魔の骨牌」 | 中井英夫著「惡魔の骨牌」 三刷 溝沢竜彦 初版 昭46 | 三、000 |
| 21 随想集水河の星 | 日影丈吉未刊短篇集成「水河の星」 三刷 桃源社 初版 昭46 | 三、000 |
| 22 就眠儀式 | 就眠儀式 三刷 桃源社 初版 昭46 | 三、000 |
| 23 記夢志 | 島尾敏雄「冥界の星」 三刷 桃源社 初版 昭46 | 三、000 |
| 24 羣吟集 | 姫嶺加藤郁平「冥界の星」 三刷 桃源社 初版 昭46 | 三、000 |
| 25 遊水道 | 日影丈吉未刊短篇集成「遊水道」 三刷 桃源社 初版 昭46 | 三、000 |
| 26 花の詩 | 花の詩 三刷 桃源社 初版 昭46 | 三、000 |
| 27 林静一劇画作品集 | 林静一劇画作品集 三刷 桃源社 初版 昭46 | 三、000 |
| 28 空蝉昇天 | 空蝉昇天 三刷 桃源社 初版 昭46 | 三、000 |
| 29 永久男根 | 永久男根 三刷 桃源社 初版 昭46 | 三、000 |
| 30 花の詩 | 花の詩 三刷 桃源社 初版 昭46 | 三、000 |
| 31 ピアズレーの墓 | ピアズレーの墓 三刷 桃源社 初版 昭46 | 三、000 |
| 32 限定期刊 | 限定期刊 三刷 桃源社 初版 昭46 | 三、000 |
| 33 平岡正明 | 平岡正明 三刷 桃源社 初版 昭46 | 三、000 |
| 34 北冬書房 | 北冬書房 三刷 桃源社 初版 昭46 | 三、000 |

〒602 京都市上京区今出川通り寺町西入ル

藤原北御所書房

電話(〇七五)二四一一五九八

| | | |
|--------------|-------------------|-------|
| 1 大航海時代 | 別巻年表索引 岩波書店刊 昭25 | 三、000 |
| 2 西方東漸史 | 中川清二郎 明31 | 三、000 |
| 3 ベルリ渡來の頬末 | 芝山隱士 明34 | 四、000 |
| 4 貿易史伝 | 近藤泥牛 大6 | 二、000 |
| 5 開国史蹟 | 村上文機編 鈴木貞太郎印 | 二、000 |
| 6 開国文化 | 玉泉寺今昔物語 岩波書店刊 昭26 | 三、000 |
| 7 崎陽論攻 | 朝日新聞社編 渡辺庫輔昭4 | 三、000 |
| 8 日本民族海外発展史 | 水しみ 柴田賢一昭16 | 二、000 |
| 9 幕末秘史 | 南海夢栗 大15 | 一、000 |
| 10 交通文化 | 桜吹雪 柴田賢一昭16 | 一、000 |
| 11 鉄道旅行案内 | 昭和12 | 一、000 |
| 12 旅はクーポン | 大沢洋 大6 | 一、000 |
| 13 鉄道名勝と史蹟 | 大沢洋 大6 | 一、000 |
| 14 八丈保養案内 | 橋公行 昭38 | 一、000 |
| 15 大概概観 | 東京都 昭38 | 一、000 |
| 16 新撰お伊勢まいり | 新井和臣編 昭5 | 一、000 |
| 17 大和めぐり | 岡田祐孝 昭9 | 一、000 |
| 18 伝説の三井寺 | 岡田祐孝 昭9 | 一、000 |
| 19 文芸と社会 | 小野延敏 昭9 | 一、000 |
| 20 文学の本願 | 青野季吉 昭11 | 一、000 |
| 21 文学の場所 | 青野季吉 昭11 | 一、000 |
| 22 大鉄治線名勝と史蹟 | 岡崎綱 | 一、000 |
| 23 文芸と社会 | 坂井末雄 昭11 | 一、000 |
| 24 文芸と社会 | 横井春野 昭11 | 一、000 |
| 25 文芸と社会 | 鷹取一郎 昭11 | 一、000 |
| 26 文芸と社会 | 信楽真純 昭11 | 一、000 |
| 27 文芸と社会 | 三宅三郎 昭11 | 一、000 |
| 28 文芸と社会 | 坂井末雄 昭11 | 一、000 |
| 29 文芸と社会 | 横井春野 昭11 | 一、000 |
| 30 文芸と社会 | 鷹取一郎 昭11 | 一、000 |
| 31 文芸と社会 | 信楽真純 昭11 | 一、000 |
| 32 文芸と社会 | 三宅三郎 昭11 | 一、000 |
| 33 文芸と社会 | 坂井末雄 昭11 | 一、000 |

〒606 京都市左京区一乗寺里ノ前町24-12

石川古本店

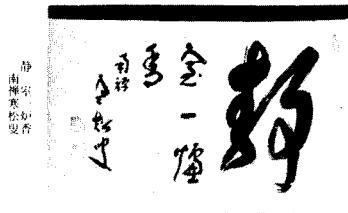
電話(〇七五)七一一一五四二九 振替 京都三二二〇八九

| | | |
|-----------------|--------------|-------|
| 1 處女 | 桜井増雄サイ入 初 | 箱昭340 |
| 2 佛教文化物語 | 深浦正文 書込有 | 箱昭330 |
| 3 趣味の佛教を語る | 神根惣生 書込有 | 箱昭320 |
| 4 禪の真髓 | 鈴木貞太郎印 書込有 | 箱昭310 |
| 5 参禪入門 | 高橋北堂 印書込有 | 箱昭300 |
| 6 禪の處世法 | 伊藤道海 書込有 | 箱昭290 |
| 7 人生快樂寶典 | 川口忠 書込有 | 箱昭280 |
| 8 座談術 | 野間清治 印有 | 箱昭270 |
| 9 妙心寺開山勅諭無相大師御傳 | 坂井末雄 書込有 | 箱昭260 |
| 10 漢詩入門 | 坂井末雄 書込有 | 箱昭250 |
| 11 作詩入門 | 横井春野 書込有 | 箱昭240 |
| 12 山の灯影 | 鷹取一郎 書込有 | 箱昭230 |
| 13 映画觀賞の基礎知識 | 菅井幸雄 書込有 | 箱昭220 |
| 14 武士道の本質 | 井上哲次郎 書込有 | 箱昭210 |
| 15 武士道と傳統 | 肥後和男 書込有 | 箱昭200 |
| 16 能樂談叢 | 西川友武 書込有 | 箱昭190 |
| 17 歌舞伎劇鑑賞 | 岡崎綱 書込有 | 箱昭180 |
| 18 文化と傳統 | 横井春野 書込有 | 箱昭170 |
| 19 工藝廠 | 森口多里 書込有 | 箱昭160 |
| 20 印度の文化と建築 | 足立康 書込有 | 箱昭150 |
| 21 日本建築史 | 上田恭輔 書込有 | 箱昭140 |
| 22 趣味の支那叢談 | 川合玉堂 書込有 | 箱昭130 |
| 23 世界奇風俗大觀 | 石川誠一 書込有 | 箱昭120 |
| 24 絵にしたる歴史の裏 | 田村孝之介 書込有 | 箱昭110 |
| 25 日本書の描き方 | 川合玉堂 書込有 | 箱昭100 |
| 26 新纂俳畫法 | 小川千穂 書込有 | 箱昭90 |
| 27 経験漢方治療学 | 鮎川静 書込有 | 箱昭80 |
| 28 十字頭を往く | 厨川白村 書込有 | 箱昭70 |
| 29 花の生け方 | 松平宗圓 書込有 | 箱昭60 |
| 30 明治大正昭和絵巻 | キンギングフロク 書込有 | 箱昭50 |
| 31 文藝思潮論 | 厨川白村 書込有 | 箱昭40 |

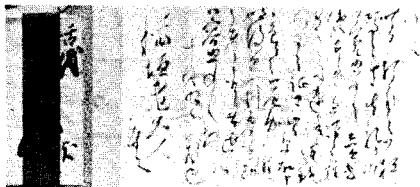
文藻堂

〒604 京都市中京区新烏丸通竹屋町上ル 振替 京都22807

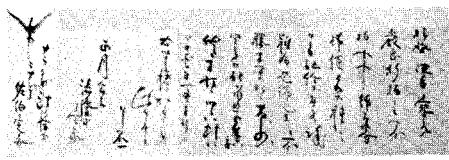
電話 (075-231-1914)



2 南禅寺管長 柴山全慶筆横軸
自題共箱(杉)美一幅 ￥120,000
絹三段表本紙 52×34



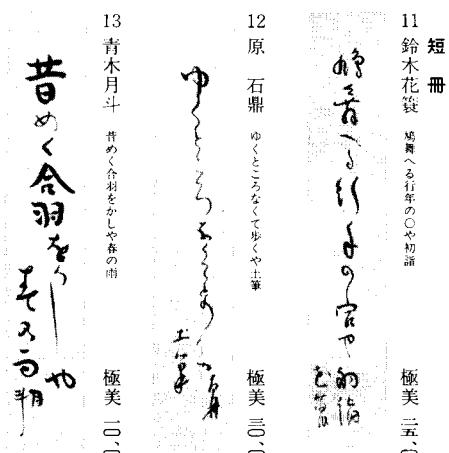
5 相国寺者長 橋本独山自筆書翰 封筒付
地模様紙 一行書の事 一通 ￥10,000



6 法隆寺 佐伯定胤自筆書翰 封筒付
色変り料紙 集会催礼状 一通 ￥10,000



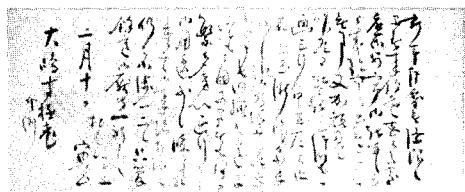
7 菊池芳文自筆書翰 封筒付
函料受取と作成期間の事 一通 ￥5,000



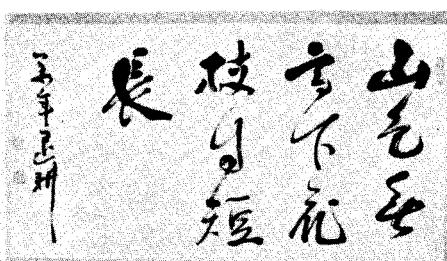
12 原 石鼎 ゆくといふなまく歩くや土事
鈴木花袋 始齢へる廿年の○や初詣
極美 三五、000



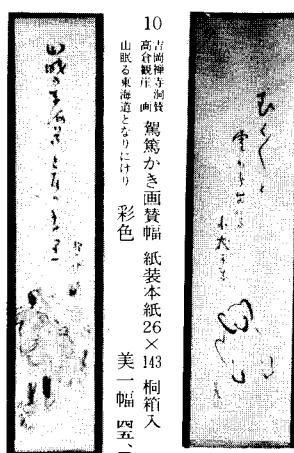
1 高浜虚子筆四字横扁額
緞子黒縁新装 極美 ￥300,000
額巾 140×41



3 大徳寺宙宝和尚自筆書翰 一通 ￥50,000
猪野伊川院画三幅村の晉書完成のこと
地模様紙 未表装 42×18



4 相国寺 萩野独闘筆横幅 紙装
本紙巾 59×33 一幅 ￥55,000
桐箱入



9 江見水蔭筆犬画賛幅 紺表本紙巾 31×133
桐箱入
むくくとすから出たる小犬かな
高倉院筆 治貞 鶴鳴かき画賛幅 紙表本紙 26×143
桐箱入
山駿の東海道となりにけり
美一幅 四五、000



8 尾崎翁堂筆 二行書幅 緞子表本紙巾 33×130
桐箱入
柳並林与竹山水有清音
美一幅 八、000

一法律・般
一經済思想書
竹岡書店

京都市左京区浄土寺西田町八十一番

御注文は各書店へ

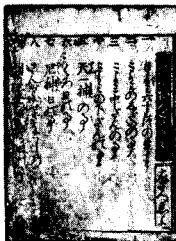
| | | | | | |
|----|----------------------|----------------|---------|---------|---------|
| 1 | 南伝大藏經 | 全65卷 | 高稿順次郎監修 | 昭45 | 三〇,000 |
| | バーリ語からの訳文 | | | | |
| 2 | 国訳一切経 | 印度撰述部 | 全156冊 | 昭45 | 四〇,000 |
| 3 | 国訳大藏經 | 国民文庫版 | 全31冊 | 昭45 | 一五〇,000 |
| 4 | 新編国訳大藏經 | 元版 | 全48冊 | 昭45 | 一七〇,000 |
| 5 | 大日本佛教全書 | 元版 | 全100冊 | 昭45 | 一五〇,000 |
| 6 | 印度哲学研究 | 元版 | 全6冊 | 昭2 | 一〇,000 |
| 7 | 弘法大師真蹟集成 | 全2冊 | 縮印版 | 昭50 | 二〇,000 |
| | 佐和隆研・中田勇次郎・編 | | | | |
| 8 | 法然上人真蹟集成 | 限定八〇〇 | 昭50 | 一一〇,000 | |
| | 塚本善隆監修 | 全2卷 | 卷子本 | | |
| 9 | 日蓮聖人真蹟集成 | 全10冊 | 昭50 | 一七〇,000 | |
| | 立正安國会・大石寺藏版 | | | | |
| 10 | 親鸞聖人真蹟集成 | 全9冊 | 昭49 | 一〇〇,000 | |
| | 赤松俊秀・藤島達朗・宮崎円遵・平松令三編 | | | | |
| 11 | 専修寺本教行記証 | 全2冊 | 昭50 | 二〇,000 | |
| | 高田派本山秘藏のもの | 親鸞聖人真蹟集成の別巻 | | | |
| | として刊行されたもの | として刊行されたもの | | | |
| | 戦前に刊行された第36号までを | 合本にして | | | |
| | 再版したもの | 古版真宗聖教現存目録も附く。 | | | |
| 12 | 宗学院論集 | 本派本願寺宗学院編 | 全15冊 | 昭50 | 一〇,000 |
| | 戦前に刊行された第36号までを | 合本にして | | | |
| 13 | 教行信證 | 阪東本 審美書院刊 | 全6冊 | 昭50 | 二〇,000 |
| | 原寸大コロタイプ複製 | | | | |
| 14 | 和漢高僧名詩新釈 | 秋 清潭 小本 | | | |
| 15 | 秋尊 | 赤沼智善 | | | |
| 16 | 仏教概論 | 高木俊一 | | | |
| 17 | 日本仏教史観 | 金子大栄 | | | |
| 18 | 慈雲大和尚法語集 | 石田誠齋 | | | |
| 19 | 慈雲飲光尊者詩歌集 | 布教文庫 | | | |
| 20 | 慈雲尊者の話 | 布教文庫 | | | |
| 21 | 長谷宝秀 | 小松明觀編 | | | |
| 22 | 宗演禪師書翰集 | 薄冊 | | | |
| | 昭6 | 昭4 | 昭27 | 昭18 | 明28 |
| | 昭6 | 昭4 | 昭27 | 昭18 | 明28 |
| | 四,000 | 四,000 | 五,000 | 七,000 | 五,000 |



9



1



I

| | | | | | | | | | | |
|--------------|------------|-----------|----|-----------------|----------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| D | まんねん よみ | 大さつ しょ | 小本 | C 新明治 三国志 | A 教訓善 字文 | B 幼学千字文 | 小本 | 小本 | 木版絵入 | 木版絵入 |
| 正保五 〇,〇〇〇 | | | | | 文政 明治 18 | 明 17 | 一 五〇〇〇 | 一 五〇〇〇 | 一 五〇〇〇 | 一 五〇〇〇 |

大雑書の最古版は、現在知られている、寛永九年版までさかのばる、それと比べると、後ろの方に少しだけ増補してある。

二

京都府上京区烏丸通今出川上
同志社正門前

正門前
東京都品川区上大崎二丁目
丸通今出川上ル

| | | | | | | |
|----|--------------|---------|-------|------|----------------|------|
| 1 | 山本有三全集 | 岩波書店 | カバ付 | 十冊揃 | 昭 | 八〇〇〇 |
| 2 | 改訂不惜身命 終りの | 山本有三 | 初版折り付 | 昭 | 五〇〇〇 | |
| 3 | 近代日本文学の悲劇 | 佐古純一郎 | 初版附付 | 昭 | 五〇〇〇 | |
| 4 | 小説研究十六講 | 木村毅 | 兩付 | 昭 | 五〇〇〇 | |
| 5 | みみずたはこと | 徳富健次郎 | 兩付 | 大 | 13 14 32 14 14 | |
| 6 | 武蔵野 | 阿部次郎 | 函付 | 昭 | 八〇〇〇 | |
| 7 | 秋窓記 | 國木田独歩 | 雨付 | 昭 | 五〇〇〇 | |
| 8 | ニッポン | タウト | 雨付 | 昭 | 八〇〇〇 | |
| 9 | 妻に與へた山田杏村の手紙 | 第一書房 | 初版附帶付 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 10 | 考へる草 | 横光利一 | 昭 | 二〇〇〇 | | |
| 11 | 血ぬられた言論 | 戦時言論揮坪史 | 昭 | 二〇〇〇 | | |
| 12 | 屍の街 | 太田洋子 | 初版函帶付 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 13 | ゴーストツヅ | 黒田寿俊 | 昭 | 二〇〇〇 | | |
| 14 | 清水焼風景 | 黒田洋子 | 初版 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 15 | 石狩川 | 長崎 | 初版 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 16 | 静かなる山々 | 長崎 | 初版 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 17 | 山の明け暮れ | 黒田洋子 | 初版 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 18 | 真空地帶 | 堀田善衛 | 初版 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 19 | 时空地帶 | 野間宏 | 初版 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 20 | ガルパン全集 上下 | 天祐社 | カバ付 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 21 | キユーリー夫人伝 | 柳英彦 | 初版 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 22 | 詩集 一點鐘 | 中村創 | 初版 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 23 | 白水社 | 白水社 | 初版 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 24 | 歌集 海 | 白水社 | カバ付 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 25 | 文芸思潮論 | 白水社 | 初版 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 26 | 土の人長塚節 | 橋田東声 | カバ付 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 27 | 歌人子規とその周辺 | 小泉栄三 | 初版 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 28 | 歌集 寒雲 | 齊藤茂吉 | カバ付 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 29 | 歌集 海 | 鈴江孝太郎 | 初版 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 30 | 歌集 黄道帰還 | 田中隆尚 | カバ付 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 31 | 教育學概論 | 西村眞次 | 初版 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 32 | 日本史大和時代 | 西村眞次 | カバ付 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 33 | 日本語と文學の波紋 | 海野昌平 | カバ付 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 34 | 國語と文學の波紋 | 海野昌平 | カバ付 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 35 | 國語と文學の波紋 | 海野昌平 | カバ付 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 36 | 國民の日本史 | 西村眞次 | カバ付 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 37 | 國語と文學の波紋 | 西村眞次 | カバ付 | 昭 | 二〇〇〇 | |
| 38 | 國語と文學の波紋 | 西村眞次 | カバ付 | 昭 | 二〇〇〇 | |

二
604

京都市中京区河原町通三条上ル
(朝日会館前)

キ
ケ
才
書
店

当店は、洋書・歴史・郷土史・民族・民俗・東洋・南洋・登山・探検書を専門に売買しております。
本号は山岳会報を中心に山の本を特集しました。

| | | | | | |
|----|------------------|------------------|---------------|-------|-----|
| 4 | 山岳 | 第十九年1号 | (尾瀬号) | 大14 | 四五〇 |
| 5 | 山岳 | 第二十九年2号 | (朝鮮金剛山) | 大14 | 四五〇 |
| 6 | 山岳 | 第三十二年1号 | (黒部号) | 昭2 | 五〇〇 |
| 7 | 山岳 | 第三十三年2号 | | 昭3 | 五六八 |
| 8 | 山岳 | 第四十八年五十七年六十年六十三年 | 昭28 昭43 | 各四五〇 | |
| 9 | 山岳 | 第六十二年 | | 大14 | 四五〇 |
| 10 | 関西学生山岳連報 | 創刊号三四号八号五冊 | 昭5 (14三〇〇) | 昭42 | 四八〇 |
| 11 | 日本山岳会学生部年報 | 第1号 | 昭38 | 一〇〇 | |
| 12 | 京都一中山岳部々報「嶺やまなみ」 | 創刊号 | 昭7 | 六〇〇 | |
| 13 | " | " | 2号 | 昭9 | 二〇〇 |
| 14 | 京都大学山岳部 | " | 7号(轟号) | 昭21 | 五五〇 |
| 15 | 大阪大学山岳会 | 「報告」12号 | 昭39 | 一八〇 | |
| 16 | 大阪商科大學山岳部「雪線」 | 特別号二冊 | 昭37 | 三五〇 | |
| 17 | 広島文理科大學山岳部「山」 | 6・7号 | 昭6・7 | 四八〇 | |
| 18 | 神戸高商山岳部「山小金」 | 5号 | 昭12 | 一五〇 | |
| 19 | 京都学芸大學山岳部「連鎖」 | (騰写版)昭34 | 一八〇 | | |
| 20 | 京都学芸大學山岳部「連鎖」 | 創刊号 | 昭34 | 一〇〇 | |
| 21 | 京都大学探検部「探検」 | 3・4・8・9・10・12号 | 昭35 各一四〇 | | |
| 22 | 北海道帝國大學スキー部記念誌 | | | | |
| 23 | 京都大学スキー部「やまみ」 | 第10卷 | 昭2 10 | 一、二〇〇 | |
| 24 | 神戸高商山岳部「やま」 | 22・23・26号 | 昭32 | 一五〇 | |
| 25 | 甲陽中学校遠足部「クリンカ」 | 2号(騰写版) | 昭7 | 一五〇 | |
| 26 | 同志社高學校山岳部々報「騰写版」 | | 昭28 | 一七〇 | |
| 27 | 京都府立桃山高校山岳部「岩魚」 | 2号(騰写版) | 昭41 | 一八〇 | |
| 28 | 全国高体連登山部報 | 3・5号 | 昭35 37 | 一〇〇 | |

| | | | | | |
|--------------------------------|-----------|-----------|-------|--------|-------|
| 「年報獨標」1号 | 「山彦」創刊号 | 浪速山岳会 | 大和山岳会 | 山岳展望の会 | 昭38 |
| 「山嶽」1・5号 | 二冊 | 大和山岳会 | 昭大15 | 三、四百 | 三、五百 |
| 「岳」 | 岳同人誌 | | 昭4 | 六、八百 | 六、八百 |
| 「井華」一九七一年の号 | (勝写版) | | 昭4 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「雪燕」創刊号 | 山樂会 | (勝写版) | 昭6 | 二、四百 | 二、四百 |
| 「京都比叡スキー俱楽部々報」創立十周年記念誌 | | | 昭8 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「山上」第二卷1号 | 奈良山岳会 | | 昭9 | 八百 | 八百 |
| 「雪線」1・2号 | 二冊雪線社山岳部 | (勝写版) | 昭10 | 三、八百 | 三、八百 |
| 「しらかんば」35号 | 都島山の会 | (勝写版) | 昭10 | 七百 | 七百 |
| 「関西連合山小屋俱楽部月報」昭和2年1月号(12月1日発行) | | | 昭10 | 二、四百 | 二、四百 |
| 「丸善山岳部々報」復刊2号 | 5号 | 四冊 | 昭16 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「東海山岳」2号 | 日本山岳会東海支部 | (勝写版) | 昭17 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「山岳雑誌『ケン』」明文堂 | 25号 | 合全三冊(入昭8) | 昭17 | 五、〇〇〇 | 五、〇〇〇 |
| 「探検」創刊号 | 5号 | 四冊 | 昭18 | 五、〇〇〇 | 五、〇〇〇 |
| 「登山」一関西の山の雑誌 | | 明文堂 | 昭19 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「登山」一現代の山の雑誌 | | | 昭20 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「ヤルン・カン英文報告書」京大山岳会(十一頁) | | | 昭24 | 各一、四百 | 各一、四百 |
| 「ヤルン・カン学術調査報告書」京大山岳会(山岳会) | | | 昭25 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「一九五一年五年不摘要五冊」(ナシハラバ) (特集) | | | 昭26 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「好日山莊」聖錄一山とスキーカーの用具 | | | 昭27 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「英支カラヨムヒンゼンクン採検簡易報告書」京大 | | | 昭28 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「東南アジア研究の七年」(学術調査中間報告書)アシア | | | 昭29 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「日本山岳地図集成」学研 | | | 昭30 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「日本山岳研究講座I・II」日本山岳会関西支部 | | | 昭31 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「山岳研究講座全集」共立社 | | | 昭32 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「山岳講座」八冊揃 | | | 昭33 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「現代登山全集」 | | | 昭34 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「日本山岳地図集成」学研 | | | 昭35 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「日本アルプス縦断記」河野桂樹(著)・古直(監修) | | | 昭36 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「日本アルプス踏破記」木下糾 | | | 昭37 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「ハイット不征服記」(米国本土最高峰)中村秋季 | | | 昭38 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「日本アルカウ会」初版 | | | 昭39 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「日本アルプス三十景」大阪朝日新聞社 | | | 昭40 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「忠那峠」時任為文 | | | 昭41 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「登山の話」田村剛 | 見送本版・兩入 | | 昭42 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「米国アルプス踏破記」(河野桂樹(著)・古直(監修)) | | | 昭43 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「ホイット不征服記」木下糾 | 世界堂 | 昭44 | 一、四百 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「山岳大観」日本アルカウ会 | | | 昭45 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「山岳大観」日本アルプス三十景 | | | 昭46 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「忠那峠」時任為文 | | | 昭47 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「登山の話」田村剛 | 見送本版・兩入 | | 昭48 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「米国アルプス踏破記」木下糾 | 世界堂 | 昭49 | 一、四百 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「ホイット不征服記」木下糾 | 世界堂 | 昭50 | 一、四百 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「山岳大観」日本アルカウ会 | | | 昭51 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「山岳大観」日本アルプス三十景 | | | 昭52 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「忠那峠」時任為文 | | | 昭53 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「登山の話」田村剛 | 見送本版・兩入 | | 昭54 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「米国アルプス踏破記」木下糾 | 世界堂 | 昭55 | 一、四百 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「ホイット不征服記」木下糾 | 世界堂 | 昭56 | 一、四百 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「山岳大観」日本アルカウ会 | | | 昭57 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「山岳大観」日本アルプス三十景 | | | 昭58 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「忠那峠」時任為文 | | | 昭59 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「登山の話」田村剛 | 見送本版・兩入 | | 昭60 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「米国アルプス踏破記」木下糾 | 世界堂 | 昭61 | 一、四百 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「ホイット不征服記」木下糾 | 世界堂 | 昭62 | 一、四百 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「山岳大観」日本アルカウ会 | | | 昭63 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「山岳大観」日本アルプス三十景 | | | 昭64 | 一、四百 | 一、四百 |
| 「忠那峠」時任為文 | | | 昭65 | 一、四百 | 一、四百 |

第3回古本まつりの青空古本大賞
「文庫本・十円より」コーナーと
「特価」コーナーを設置。在庫
お預けしようと目下準備中。
ぜひおいで下さい。

〒600

京都市下京区寺町通伝仏光寺下る

三密堂書店

| | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1 章譯根本仏教聖典叢書十二冊摘要 | 電話 (○七五) 三五一一九六六三 |
| 2 仏教史概説 インド篇 | 振替 京都 三四七一 |
| 3 日本名僧辞典 | |
| 4 秘密仏教史 | |
| 5 密教思想の真理 | |
| 6 密教の智恵 | |
| 7 密教の理論と実践 | |
| 8 密教の日本の展開 | |
| 9 密教の相承者—その行動と思想 | |
| 10 最澄空海集 | |
| 11 高野山金剛峰寺 | |
| 12 役中説本 | |
| 13 中論・因果の論理的構造 | |
| 14 大乗起信論 | |
| 15 日本教学の特性 | |
| 16 日本淨土教の研究 | |
| 17 法然とその門下の教學 | |
| 18 六方體經講話 | |
| 19 法句經講義 | |
| 20 愛と平和の象徴你勒経 | |
| 21 一般若心經秘鍵講義 | |
| 22 心經のこゝろ | |
| 23 観音經のこゝろ | |
| 24 周易十翼精義 | |
| 25 周易進講手記 | |
| 26 易学階梯附言 二冊摘要 | |
| 27 新草對萬年曆 | |
| 28 感應錄 (家良嘉喜) | |
| 29 我が信心のあゆみ (金光教) | |
| 30 天地の開ける音 (金光教案内) | |
| 31 二荒山神社 | |
| 32 神祇研究会編 | |
| 33 神祇奉仕者の顧問 | |
| 34 神祇供進使講話 | |
| 35 神祇研究会編 | |
| 36 神祇供進使講話 | |
| 37 神祇研究会編 | |
| 38 真言宗綱要 | |
| 39 聲明概説 | |
| 40 悉曇の解説 | |
| 41 吠陀文學 | |
| 42 南方上座部論解説 | |
| 43 西藏史の研究 | |
| 44 巴利語文法 | |
| 45 仏教大學講座 (分光) 各冊八百円の部唯識哲學研究伊藤高 | |
| 46 巴利仏典 | |
| 47 仏教大學講座 林五郎 | |
| 48 仏教大學講座 明石慧達 | |
| 49 仏教大學講座 立花俊道 | |
| 50 仏教大學講座 上田天瑞 | |
| 51 仏教大學講座 大野道 | |
| 52 仏教大學講座 富田教純 | |
| 53 仏教大學講座 萩原雲来 | |
| 54 仏教大學講座 大山公淳 | |
| 55 仏教大學講座 德水芽生 | |
| 56 仏教大學講座 水野弘元 | |
| 57 仏教大學講座 佐々木教悟 | |
| 58 仏教大學講座 松長有慶著 | |
| 59 仏教大學講座 宮坂宥勝著 | |
| 60 仏教大學講座 渡辺照宏編 | |
| 61 仏教大學講座 堀田真快著 | |
| 62 仏教大學講座 西野清説著 | |
| 63 仏教大學講座 上野順瑛著 | |
| 64 仏教大學講座 明石惠達 | |
| 65 仏教大學講座 石井順瑛著 | |
| 66 仏教大學講座 佐々木辨匡著 | |
| 67 仏教大學講座 松原致遠著 | |
| 68 仏教大學講座 石田充之著 | |
| 69 仏教大學講座 真宗學論叢2 | |
| 70 仏教大學講座 真宗學論叢3 | |
| 71 仏教大學講座 真宗學論叢4 | |
| 72 仏教大學講座 真宗學論叢5 | |
| 73 仏教大學講座 真宗學論叢6 | |
| 74 仏教大學講座 真宗學論叢7 | |
| 75 仏教大學講座 真宗學論叢8 | |
| 76 仏教大學講座 真宗學論叢9 | |
| 77 仏教大學講座 真宗學論叢10 | |
| 78 仏教大學講座 真宗學論叢11 | |
| 79 仏教大學講座 真宗學論叢12 | |
| 80 仏教大學講座 真宗學論叢13 | |
| 81 仏教大學講座 真宗學論叢14 | |
| 82 仏教大學講座 真宗學論叢15 | |
| 83 仏教大學講座 真宗學論叢16 | |
| 84 仏教大學講座 真宗學論叢17 | |
| 85 仏教大學講座 真宗學論叢18 | |
| 86 仏教大學講座 真宗學論叢19 | |
| 87 仏教大學講座 真宗學論叢20 | |
| 88 仏教大學講座 真宗學論叢21 | |
| 89 仏教大學講座 真宗學論叢22 | |
| 90 仏教大學講座 真宗學論叢23 | |
| 91 仏教大學講座 真宗學論叢24 | |
| 92 仏教大學講座 真宗學論叢25 | |
| 93 仏教大學講座 真宗學論叢26 | |
| 94 仏教大學講座 真宗學論叢27 | |
| 95 仏教大學講座 真宗學論叢28 | |
| 96 仏教大學講座 真宗學論叢29 | |
| 97 仏教大學講座 真宗學論叢30 | |
| 98 仏教大學講座 真宗學論叢31 | |
| 99 仏教大學講座 真宗學論叢32 | |
| 100 仏教大學講座 真宗學論叢33 | |
| 101 仏教大學講座 真宗學論叢34 | |
| 102 仏教大學講座 真宗學論叢35 | |
| 103 仏教大學講座 真宗學論叢36 | |
| 104 仏教大學講座 真宗學論叢37 | |
| 105 仏教大學講座 真宗學論叢38 | |
| 106 仏教大學講座 真宗學論叢39 | |
| 107 仏教大學講座 真宗學論叢40 | |
| 108 仏教大學講座 真宗學論叢41 | |
| 109 仏教大學講座 真宗學論叢42 | |
| 110 仏教大學講座 真宗學論叢43 | |
| 111 仏教大學講座 真宗學論叢44 | |
| 112 仏教大學講座 真宗學論叢45 | |
| 113 仏教大學講座 真宗學論叢46 | |
| 114 仏教大學講座 真宗學論叢47 | |
| 115 仏教大學講座 真宗學論叢48 | |
| 116 仏教大學講座 真宗學論叢49 | |
| 117 仏教大學講座 真宗學論叢50 | |
| 118 仏教大學講座 真宗學論叢51 | |
| 119 仏教大學講座 真宗學論叢52 | |
| 120 仏教大學講座 真宗學論叢53 | |
| 121 仏教大學講座 真宗學論叢54 | |
| 122 仏教大學講座 真宗學論叢55 | |
| 123 仏教大學講座 真宗學論叢56 | |
| 124 仏教大學講座 真宗學論叢57 | |
| 125 仏教大學講座 真宗學論叢58 | |
| 126 仏教大學講座 真宗學論叢59 | |
| 127 仏教大學講座 真宗學論叢60 | |
| 128 仏教大學講座 真宗學論叢61 | |
| 129 仏教大學講座 真宗學論叢62 | |
| 130 仏教大學講座 真宗學論叢63 | |
| 131 仏教大學講座 真宗學論叢64 | |
| 132 仏教大學講座 真宗學論叢65 | |
| 133 仏教大學講座 真宗學論叢66 | |
| 134 仏教大學講座 真宗學論叢67 | |
| 135 仏教大學講座 真宗學論叢68 | |
| 136 仏教大學講座 真宗學論叢69 | |
| 137 仏教大學講座 真宗學論叢70 | |
| 138 仏教大學講座 真宗學論叢71 | |
| 139 仏教大學講座 真宗學論叢72 | |
| 140 仏教大學講座 真宗學論叢73 | |
| 141 仏教大學講座 真宗學論叢74 | |
| 142 仏教大學講座 真宗學論叢75 | |
| 143 仏教大學講座 真宗學論叢76 | |
| 144 仏教大學講座 真宗學論叢77 | |
| 145 仏教大學講座 真宗學論叢78 | |
| 146 仏教大學講座 真宗學論叢79 | |
| 147 仏教大學講座 真宗學論叢80 | |
| 148 仏教大學講座 真宗學論叢81 | |
| 149 仏教大學講座 真宗學論叢82 | |
| 150 仏教大學講座 真宗學論叢83 | |
| 151 仏教大學講座 真宗學論叢84 | |
| 152 仏教大學講座 真宗學論叢85 | |
| 153 仏教大學講座 真宗學論叢86 | |
| 154 仏教大學講座 真宗學論叢87 | |
| 155 仏教大學講座 真宗學論叢88 | |
| 156 仏教大學講座 真宗學論叢89 | |
| 157 仏教大學講座 真宗學論叢90 | |
| 158 仏教大學講座 真宗學論叢91 | |
| 159 仏教大學講座 真宗學論叢92 | |
| 160 仏教大學講座 真宗學論叢93 | |
| 161 仏教大學講座 真宗學論叢94 | |
| 162 仏教大學講座 真宗學論叢95 | |
| 163 仏教大學講座 真宗學論叢96 | |
| 164 仏教大學講座 真宗學論叢97 | |
| 165 仏教大學講座 真宗學論叢98 | |
| 166 仏教大學講座 真宗學論叢99 | |
| 167 仏教大學講座 真宗學論叢100 | |
| 168 仏教大學講座 真宗學論叢101 | |
| 169 仏教大學講座 真宗學論叢102 | |
| 170 仏教大學講座 真宗學論叢103 | |
| 171 仏教大學講座 真宗學論叢104 | |
| 172 仏教大學講座 真宗學論叢105 | |
| 173 仏教大學講座 真宗學論叢106 | |
| 174 仏教大學講座 真宗學論叢107 | |
| 175 仏教大學講座 真宗學論叢108 | |
| 176 仏教大學講座 真宗學論叢109 | |
| 177 仏教大學講座 真宗學論叢110 | |
| 178 仏教大學講座 真宗學論叢111 | |
| 179 仏教大學講座 真宗學論叢112 | |
| 180 仏教大學講座 真宗學論叢113 | |
| 181 仏教大學講座 真宗學論叢114 | |
| 182 仏教大學講座 真宗學論叢115 | |
| 183 仏教大學講座 真宗學論叢116 | |
| 184 仏教大學講座 真宗學論叢117 | |
| 185 仏教大學講座 真宗學論叢118 | |
| 186 仏教大學講座 真宗學論叢119 | |
| 187 仏教大學講座 真宗學論叢120 | |
| 188 仏教大學講座 真宗學論叢121 | |
| 189 仏教大學講座 真宗學論叢122 | |
| 190 仏教大學講座 真宗學論叢123 | |
| 191 仏教大學講座 真宗學論叢124 | |
| 192 仏教大學講座 真宗學論叢125 | |
| 193 仏教大學講座 真宗學論叢126 | |
| 194 仏教大學講座 真宗學論叢127 | |
| 195 仏教大學講座 真宗學論叢128 | |
| 196 仏教大學講座 真宗學論叢129 | |
| 197 仏教大學講座 真宗學論叢130 | |
| 198 仏教大學講座 真宗學論叢131 | |
| 199 仏教大學講座 真宗學論叢132 | |
| 200 仏教大學講座 真宗學論叢133 | |
| 201 仏教大學講座 真宗學論叢134 | |
| 202 仏教大學講座 真宗學論叢135 | |
| 203 仏教大學講座 真宗學論叢136 | |
| 204 仏教大學講座 真宗學論叢137 | |
| 205 仏教大學講座 真宗學論叢138 | |
| 206 仏教大學講座 真宗學論叢139 | |
| 207 仏教大學講座 真宗學論叢140 | |
| 208 仏教大學講座 真宗學論叢141 | |
| 209 仏教大學講座 真宗學論叢142 | |
| 210 仏教大學講座 真宗學論叢143 | |
| 211 仏教大學講座 真宗學論叢144 | |
| 212 仏教大學講座 真宗學論叢145 | |
| 213 仏教大學講座 真宗學論叢146 | |
| 214 仏教大學講座 真宗學論叢147 | |
| 215 仏教大學講座 真宗學論叢148 | |
| 216 仏教大學講座 真宗學論叢149 | |
| 217 仏教大學講座 真宗學論叢150 | |
| 218 仏教大學講座 真宗學論叢151 | |
| 219 仏教大學講座 真宗學論叢152 | |
| 220 仏教大學講座 真宗學論叢153 | |
| 221 仏教大學講座 真宗學論叢154 | |
| 222 仏教大學講座 真宗學論叢155 | |
| 223 仏教大學講座 真宗學論叢156 | |
| 224 仏教大學講座 真宗學論叢157 | |
| 225 仏教大學講座 真宗學論叢158 | |
| 226 仏教大學講座 真宗學論叢159 | |
| 227 仏教大學講座 真宗學論叢160 | |
| 228 仏教大學講座 真宗學論叢161 | |
| 229 仏教大學講座 真宗學論叢162 | |
| 230 仏教大學講座 真宗學論叢163 | |
| 231 仏教大學講座 真宗學論叢164 | |
| 232 仏教大學講座 真宗學論叢165 | |
| 233 仏教大學講座 真宗學論叢166 | |
| 234 仏教大學講座 真宗學論叢167 | |
| 235 仏教大學講座 真宗學論叢168 | |
| 236 仏教大學講座 真宗學論叢169 | |
| 237 仏教大學講座 真宗學論叢170 | |
| 238 仏教大學講座 真宗學論叢171 | |
| 239 仏教大學講座 真宗學論叢172 | |
| 240 仏教大學講座 真宗學論叢173 | |
| 241 仏教大學講座 真宗學論叢174 | |
| 242 仏教大學講座 真宗學論叢175 | |
| 243 仏教大學講座 真宗學論叢176 | |
| 244 仏教大學講座 真宗學論叢177 | |
| 245 仏教大學講座 真宗學論叢178 | |
| 246 仏教大學講座 真宗學論叢179 | |
| 247 仏教大學講座 真宗學論叢180 | |
| 248 仏教大學講座 真宗學論叢181 | |
| 249 仏教大學講座 真宗學論叢182 | |
| 250 仏教大學講座 真宗學論叢183 | |
| 251 仏教大學講座 真宗學論叢184 | |
| 252 仏教大學講座 真宗學論叢185 | |
| 253 仏教大學講座 真宗學論叢186 | |
| 254 仏教大學講座 真宗學論叢187 | |
| 255 仏教大學講座 真宗學論叢188 | |
| 256 仏教大學講座 真宗學論叢189 | |
| 257 仏教大學講座 真宗學論叢190 | |
| 258 仏教大學講座 真宗學論叢191 | |
| 259 仏教大學講座 真宗學論叢192 | |
| 260 仏教大學講座 真宗學論叢193 | |
| 261 仏教大學講座 真宗學論叢194 | |
| 262 仏教大學講座 真宗學論叢195 | |
| 263 仏教大學講座 真宗學論叢196 | |
| 264 仏教大學講座 真宗學論叢197 | |
| 265 仏教大學講座 真宗學論叢198 | |
| 266 仏教大學講座 真宗學論叢199 | |
| 267 仏教大學講座 真宗學論叢200 | |
| 268 仏教大學講座 真宗學論叢201 | |
| 269 仏教大學講座 真宗學論叢202 | |
| 270 仏教大學講座 真宗學論叢203 | |
| 271 仏教大學講座 真宗學論叢204 | |
| 272 仏教大學講座 真宗學論叢205 | |
| 273 仏教大學講座 真宗學論叢206 | |
| 274 仏教大學講座 真宗學論叢207 | |
| 275 仏教大學講座 真宗學論叢208 | |
| 276 仏教大學講座 真宗學論叢209 | |
| 277 仏教大學講座 真宗學論叢210 | |
| 278 仏教大學講座 真宗學論叢211 | |
| 279 仏教大學講座 真宗學論叢212 | |
| 280 仏教大學講座 真宗學論叢213 | |
| 281 仏教大學講座 真宗學論叢214 | |
| 282 仏教大學講座 真宗學論叢215 | |
| 283 仏教大學講座 真宗學論叢216 | |
| 284 仏教大學講座 真宗學論叢217 | |
| 285 仏教大學講座 真宗學論叢218 | |
| 286 仏教大學講座 真宗學論叢219 | |
| 287 仏教大學講座 真宗學論叢220 | |
| 288 仏教大學講座 真宗學論叢221 | |
| 289 仏教大學講座 真宗學論叢222 | |
| 290 仏教大學講座 真宗學論叢223 | |
| 291 仏教大學講座 真宗學論叢224 | |
| 292 仏教大學講座 真宗學論叢225 | |
| 293 仏教大學講座 真宗學論叢226 | |
| 294 仏教大學講座 真宗學論叢227 | |
| 295 仏教大學講座 真宗學論叢228 | |
| 296 仏教大學講座 真宗學論叢229 | |
| 297 仏教大學講座 真宗學論叢230 | |
| 298 仏教大學講座 真宗學論叢231 | |
| 299 仏教大學講座 真宗學論叢232 | |
| 300 仏教大學講座 真宗學論叢233 | |
| 301 仏教大學講座 真宗學論叢234 | |
| 302 仏教大學講座 真宗學論叢235 | |
| 303 仏教大學講座 真宗學論叢236 | |
| 304 仏教大學講座 真宗學論叢237 | |
| 305 仏教大學講座 真宗學論叢238 | |
| 306 仏教大學講座 真宗學論叢239 | |
| 307 仏教大學講座 真宗學論叢240 | |
| 308 仏教大學講座 真宗學論叢241 | |
| 309 仏教大學講座 真宗學論叢242 | |
| 310 仏教大學講座 真宗學論叢243 | |
| 311 仏教大學講座 真宗學論叢244 | |
| 312 仏教大學講座 真宗學論叢245 | |
| 313 仏教大學講座 真宗學論叢246 | |
| 314 仏教大學講座 真宗學論叢247 | |
| 315 仏教大學講座 真宗學論叢248 | |
| 316 仏教大學講座 真宗學論叢249 | |
| 317 仏教大學講座 真宗學論叢250 | |
| 318 仏教大學講座 真宗學論叢251 | |
| 319 仏教大學講座 真宗學論叢252 | |
| 320 仏教大學講座 真宗學論叢253 | |
| 321 仏教大學講座 真宗學論叢254 | |
| 322 仏教大學講座 真宗學論叢255 | |
| 323 仏教大學講座 真宗學論叢256 | |
| 324 仏教大學講座 真宗學論叢257 | |
| 325 仏教大學講座 真宗學論叢258 | |
| 326 仏教大學講座 真宗學論叢259 | |
| 327 仏教大學講座 真宗學論叢260 | |
| 328 仏教大學講座 真宗學論叢261 | |
| 329 仏教大學講座 真宗學論叢262 | |
| 330 仏教大學講座 真宗學論叢263 | |
| 331 仏教大學講座 真宗學論叢264 | |
| 332 仏教大學講座 真宗學論叢265 | |
| 333 仏教大學講座 真宗學論叢266 | |
| 334 仏教大學講座 真宗學論叢267 | |
| 335 仏教大學講座 真宗學論叢268 | |
| 336 仏教大學講座 真宗學論叢269 | |
| 337 仏教大學講座 真宗學論叢270 | |
| 338 仏教大學講座 真宗學論叢271 | |
| 339 仏教大學講座 真宗學論叢272 | |
| 340 仏教大學講座 真宗學論叢273 | |
| 341 仏教大學講座 真宗學論叢274 | |
| 342 仏教大學講座 真宗學論叢275 | |
| 343 仏教大學講座 真宗學論叢276 | |
| 344 仏教大學講座 真宗學論叢277 | |
| 345 仏教大學講座 真宗學論叢278 | |
| 346 仏教大學講座 真宗學論叢279 | |
| 347 仏教大學講座 真宗學論叢280 | |
| 348 仏教大學講座 真宗學論叢281 | |
| 349 仏教大學講座 真宗學論叢282 | |
| 350 仏教大學講座 真宗學論叢283 | |
| 351 仏教大學講座 真宗學論叢284 | |
| 352 仏教大學講座 真宗學論叢285 | |
| 353 仏教大學講座 真宗學論叢286 | |
| 354 仏教大學講座 真宗學論叢287 | |
| 355 仏教大學講座 真宗學論叢288 | |
| 356 仏教大學講座 真宗學論叢289 | |
| 357 仏教大學講座 真宗學論叢290 | |
| 358 仏教大學講座 真宗學論叢291 | |
| 359 仏教大學講座 真宗學論叢292 | |
| 360 仏教大學講座 真宗學論叢293 | |
| 361 仏教大學講座 真宗學論叢294 | |
| 362 仏教大學講座 真宗學論叢295 | |
| 363 仏教大學講座 真宗學論叢296 | |
| 364 仏教大學講座 真宗學論叢297 | |
| 365 仏教大學講座 真宗學論叢298 | |
| 366 仏教大學講座 真宗學論叢299 | |
| 367 仏教大學講座 真宗學論叢300 | |
| 368 仏教大學講座 真宗學論叢301 | |
| 369 仏教大學講座 真宗學論叢302 | |
| 370 仏教大學講座 真宗學論叢303 | |
| 371 仏教大學講座 真宗學論叢304 | |
| 372 仏教大學講座 真宗學論叢305 | |
| 373 仏教大學講 | |

〒 603 京都市北区小山下内河原町六三

古書籍 東方書店

電話(〇七八五)四九一—十三〇七一

| | | |
|---------------------|------------------------------|-----|
| 1 世界体育史 | ラ・ライス 今村嘉蔵訳 | 昭31 |
| 2 スポーツの生理学 | 猪飼道夫他 脊一郎イタミ | 昭35 |
| 3 初等心理学 | ラット著 畠田忠義訳 | 昭36 |
| 4 ソヴェトの教育制度 | 福井研介 福井研介 | 昭24 |
| 5 明徳五十年史(京都) | 其編集委員会 明徳五十年史(京都) | 昭45 |
| 6 聚楽校百年史(京都) | 其記念事業委員会 聚楽校百年史(京都) | 昭45 |
| 7 個性調査と職業指導の実践 | 杉原勇 杉原勇 | 昭6 |
| 8 修身訓練の諸問題訓練の部 | 佐々木秀一 佐々木秀一 | 昭4 |
| 9 体力管理と体力検査 | 古屋芳雄 古屋芳雄 | 昭16 |
| 10 小学生児童実験と教授実験及其施設 | 河野通匡 河野通匡 | 昭10 |
| 11 学校衛生概論 | 北朝吉 北朝吉 | 昭11 |
| 12 中教審と教育改革 | 小西重也 小西重也 | 昭12 |
| 13 公民教授資料 | 第五次京都公教研究報告書 日本教職員組合編 | 昭13 |
| 14 変革期の教育 | キヤンデル、清水、河野訳 現代教育研究会 | 昭14 |
| 15 高一插絵中心景観的取扱 | 森信美 森信美 | 昭15 |
| 16 修徳百年の回顧(京都) | 修徳同窓会 修徳同窓会 | 昭16 |
| 17 図書館類縁機関要覧稿 | 国立国会図書館 昭17 | |
| 18 私たちの歩み | 第五次京都公教研究報告書 日本教職員組合編 | 昭18 |
| 19 日本の教育課程 | 日本教職員組合編 | 昭19 |
| 20 京都府教育史 | 京都府立教育研究所 戦後編 | 昭20 |
| 21 京都府中学校沿革誌 | 京都府中学校長会 昭21 | |
| 22 日本の教育第七集 | 日本教職員組合編 昭22 | |
| 23 女子競技 | 三橋義雄 三橋義雄 | 昭23 |
| 24 植物生態美觀 | 三好学 三好学 | 昭24 |
| 25 改正学籍簿精義 | 乙黒武雄 乙黒武雄 | 昭25 |
| 26 精華七十年史 | 京都精華女子高 京都精華女子高 | 昭26 |
| 27 新しい人間形成の体育 | 佐々木等 佐々木等 | 昭27 |
| 28 教育的文学理論 | 大利資雄 大利資雄 | 昭28 |
| 29 児童宗教の理論と実際 | 鈴木積善 鈴木積善 | 昭29 |
| 30 視学巡視と学校の研究 | 教材王國編集部編 参観法 | 昭30 |
| 31 体育五十年史 | 竹之下林蔵 竹之下林蔵 | 昭31 |
| 32 大学卒業生の就職に関する研究 | 大学卒業生の就職に関する研究 新潟県立農業専門学校 | 昭32 |
| 33 リースマン新堀通也他訳 | リースマン新堀通也他訳 | 昭33 |
| 34 大学校教育論 | 大学校教育論 | 昭34 |
| 35 昭和36年 | 昭和36年 | 昭36 |
| 36 昭和37年 | 昭和37年 | 昭36 |

| | | |
|---------------------|--|------|
| 34 デューアイ教育学の根本問題 | 日本デューアイ学会第一集 上田武人編 | 昭34 |
| 35 同和教育資料 | 解説共二冊 昭35 | 各 |
| 36 同和教育資料 | 10集+13集 昭36 | 各 |
| 37 同和教育資料 | 15集+16集 昭37 | 各 |
| 38 同和教育資料 | 42集 昭38 | 各 |
| 39 同和教育資料 | 43集 昭39 | 各 |
| 40 潛艇術 | 犬国寿吉 犬国寿吉 | 昭40 |
| 41 京小間物業界の今昔 | 井上早苗編 井上早苗編 | 昭41 |
| 42 ナチス・独逸の学校体育 | 文部省総務局編 脊少輔 | 昭42 |
| 43 日雇労働者生活実態調査結果報告書 | 京都府労働委員会 京都府労働委員会 | 昭43 |
| 44 貸銀統計表 | 京都府地方労働委員会取扱件数一覧表 京都府地方労働委員会取扱件数一覧表 | 昭44 |
| 45 貸銀統計表 | 大仏次郎編 大仏次郎編 | 昭45 |
| 46 道路改良会 | 道路改良会 道路改良会 | 昭46 |
| 47 割烹指導方案 | 中原伊子 中原伊子 | 昭47 |
| 48 满洲の配給市場 | 大野勇 大野勇 | 昭48 |
| 49 農村労働力の変動 | 次三男 次三男 | 昭49 |
| 50 町工場の生態 | 栗田鼎造 栗田鼎造 | 昭50 |
| 51 樺太氣象累年報 | 大谷武一 大谷武一 | 昭51 |
| 52 低鉄棒運動 | 鉢物の鑑識法と教授の実際 鉢物の鑑識法と教授の実際 | 昭52 |
| 53 鉛筆の鑑識法と教授の実際 | 栗田鼎造 栗田鼎造 | 昭53 |
| 54 谷口長雄先生伝 | 其先生伝記編纂会医学者 其先生伝記編纂会医学者 | 昭54 |
| 55 京都府旅館業界の実態 | 京都府立産業調査研究所 京都府立産業調査研究所 | 昭55 |
| 56 濟南事情 | 濟南日本商工会議所 濟南日本商工会議所 | 昭56 |
| 57 組合史 | 西陣織産地問屋組合 西陣織産地問屋組合 | 昭57 |
| 58 あんま職人の徒弟的労働 | 京都府労働経済研究所 京都府労働経済研究所 | 昭58 |
| 59 シエクスピア物語 | 中村詳一訳 中村詳一訳 | 昭59 |
| 60 正義と微笑 | 太宰治初版 太宰治初版 | 昭60 |
| 61 英雄と祭典 | 堀場正夫 堀場正夫 | 昭61 |
| 62 理想特集 | 七十号 七十号 | 昭62 |
| 63 雜誌文学特集 | 藤村研究 藤村研究 | 昭63 |
| 64 世界名詩物語 | 佐藤八郎訳 佐藤八郎訳 | 昭64 |
| 65 荒地詩 | カバー付No.1 カバー付No.1 | 昭65 |
| 66 雪の綫路を歩いて | 初版カバー付 初版カバー付 | 昭66 |
| 67 小川未明 | カバーナシ カバーナシ | 昭67 |
| 68 筆の草 | 高木菱川編 高木菱川編 | 昭68 |
| 69 激動の中 | 三宅雪嶺 三宅雪嶺 | 昭69 |
| 70 空の少年兵 | 倉町秋次 倉町秋次 | 昭70 |
| 71 武道双談 | 本山荻舟 本山荻舟 | 昭71 |
| 72 富士に題す | 佐藤紅緑 佐藤紅緑 | 昭72 |
| 73 雜誌理想特集 | 二葉亭研究 二葉亭研究 | 昭73 |
| 74 雜誌文学特集 | 鷗外研究 鷗外研究 | 昭74 |
| 75 雜誌文学特集 | 五卷九号 五卷九号 | 昭75 |
| 76 奇談 | 四卷六号 四卷六号 | 昭76 |
| 77 漫画童画版画の描き方 | 松山文雄 松山文雄 | 昭77 |
| 78 生命の科学 | 青柳幸 青柳幸 | 昭78 |
| 79 春宵和尚奇縁 | 大仏次郎編 大仏次郎編 | 昭79 |
| 80 修養と人物 | 永井潜 永井潜 | 昭80 |
| 81 漢字特集 | 浅野研真 浅野研真 | 昭81 |
| 82 雜誌文字特集 | マルクス主義物語 マルクス主義物語 | 昭82 |
| 83 生命論 | 平井氏 平井氏 | 昭83 |
| 84 漢口雄幸 | 尼子止編 尼子止編 | 昭84 |
| 85 修養 | 私の野球 私の野球 | 昭85 |
| 86 修養 | 勝利と修養 勝利と修養 | 昭86 |
| 87 修養 | 腰本研 腰本研 | 昭87 |
| 88 修養 | 谷津直秀 谷津直秀 | 昭88 |
| 89 修養 | 大沢一六校訂 大沢一六校訂 | 昭89 |
| 90 修養 | 内務省社会局 内務省社会局 | 昭90 |
| 91 修養 | 陸軍歩兵学校編 陸軍歩兵学校編 | 昭91 |
| 92 修養 | 陸軍歩兵学校編 陸軍歩兵学校編 | 昭92 |
| 93 修養 | 陸軍歩兵学校編 陸軍歩兵学校編 | 昭93 |
| 94 朝日航空講座 | 朝日新聞社 朝日新聞社 | 昭94 |
| 95 朝日航空講座 | 上二冊 上二冊 | 昭95 |
| 96 修養 | 坂本峻雄 坂本峻雄 | 昭96 |
| 97 满洲の文化 | 春山行夫 春山行夫 | 昭97 |
| 98 三式山砲取扱上ノ参考 | 陸軍歩兵学校編 陸軍歩兵学校編 | 昭98 |
| 99 航空兵操典改正理由書 | 日本勞農通信社 日本勞農通信社 | 昭99 |
| 100 戦後のソ連社会 | ソヴェト研究 ソヴェト研究 | 昭100 |
| 101 労農年報 | 日本勞農通信社 日本勞農通信社 | 昭101 |
| 102 ソ聯史 | ア・エ・シ・エスタコフ ア・エ・シ・エスタコフ | 昭102 |
| 103 読書四十年 | 荒川実蔵訳 荒川実蔵訳 | 昭103 |
| 104 米備政策史 | 別巻英國篇 別巻英國篇 | 昭104 |
| 105 戦後のソ連社会 | 北川義雄 北川義雄 | 昭105 |
| 106 戦後のソ連社会 | 福島政夫 福島政夫 | 昭106 |
| 107 南大阪教会五十年史 | 大森真一郎 大森真一郎 | 昭107 |
| 108 日本基督教团南大阪教会 | 大森真一郎 大森真一郎 | 昭108 |
| 109 茨木教会創立二十年史 | 大森真一郎 大森真一郎 | 昭109 |
| 110 J.O.C.H. No.3 | 支那の東京慈惠会医科大学大學生山居部 支那の東京慈惠会医科大学大學生山居部 | 昭110 |
| 111 流祖中尾郡山逸話集 | 都山房史編纂委員会 都山房史編纂委員会 | 昭111 |

〒600 京都市下京区寺町通り五条上ル

藤井文政堂

電話(075)351-1936
振替大阪三一五三

| | | |
|----------------|--------|----------|
| 1 成唯識論 | 元禄版 | 虫喰有大本十冊 |
| 2 大乗法苑義林章 | 元禄版後ズリ | 大本七冊 |
| 3 観經要義鈔 | 月珠著 | 半紙四冊 |
| 4 四教儀集註要論鈔 | 忠澄述 | 明治活版半紙二冊 |
| 5 教行信証六要鈔会本 | 御自歎共 | 大本十冊 |
| 6 證拠如米縁起 | 天明版 | 大本 |
| 7 自然法爾口訣 | 法鏡記 | 天明写本大本 |
| 8 愚禿鈔記 | 惠海述 | 写本大本 |
| 9 净土文類試解 | 圓智述 | 虫喰有大本三冊 |
| 10 文類聚跡玲記 | 法霖述 | 虫喰有大本四冊 |
| 11 一念名義集 | 鳥有道人錄 | 虫喰有大本半紙 |
| 12 淨業決択抄 | 天明写本半紙 | 虫喰有大本三冊 |
| 13 正信偈講義 | 前田慧雲 | 活版半紙 |
| 14 易行品義記 | 是山惠覺 | 活版半紙 |
| 15 法華論 | 龍 | 活版半紙 |
| 16 諭岩護法篇 | 寔本 | 大本 |
| 17 略述法相義 | 寔本 | 大本三冊 |
| 18 標輪法華要解 | 寔本 | 大本七冊 |
| 19 三祖大師信心錄鈔 | 寔本 | 大本三冊 |
| 20 大藏輔国集 | 寔本 | 大本三冊 |
| 21 貞丈雜記 | 寔本 | 大本三冊 |
| 22 冠註俱舍論頌疏 | 寔本 | 大本三冊 |
| 23 檀家式 | 寔本 | 大本三冊 |
| 24 十善法話 | 寔本 | 大本三冊 |
| 25 日本樂府 | 寔本 | 大本三冊 |
| 26 宗門綱格 | 寔本 | 大本三冊 |
| 27 円覺経略疏科註 | 寔本 | 大本三冊 |
| 28 一万体印造地藏尊感記 | 寔本 | 大本三冊 |
| 29 本教大店 | 寔本 | 大本三冊 |
| 30 真理活用鏡 | 寔本 | 大本三冊 |
| 31 方位早指南 | 寔本 | 大本三冊 |
| 32 天球造化太真瓊神教大意 | 寔本 | 大本三冊 |
| 33 天社御山諸調査抄 | 寔本 | 大本三冊 |
| 34 近藤周蔵 | 寔本 | 大本三冊 |

| | | |
|--|-----------|-------|
| 72 71 70 69 68 67 66 65 64 63 62 61 60 59 58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 | 看命一掌金和解 | 方則指要 |
| 73 大師の生涯と其宗教 | 日本支那淨土門聖典 | 杉山真恭 |
| 74 慈雲律師行誠上人篇 | 國訖大藏經 | 高僧名著 |
| 75 日蓮宗聖典 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 76 臨濟宗聖典 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 77 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 78 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 79 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 80 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 81 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 82 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 83 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 84 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 85 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 86 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 87 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 88 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 89 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 90 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 91 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 92 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 93 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 94 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 95 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 96 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 97 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 98 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 99 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 100 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 101 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 102 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 103 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 104 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 105 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 106 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 107 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 108 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 109 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| 110 國訖大藏經 | 國訖大藏經 | 國訖大藏經 |
| A 5 雜誌 | B 6 六冊 | 大本三冊 |
| 昭4 | 昭8 | 大本三冊 |
| 三、000 | 二、000 | 一、000 |
| 卷 | 卷 | 卷 |

| | | |
|--|-----------|-----------|
| 110 109 108 107 106 105 104 103 102 101 100 99 98 97 96 95 94 93 92 91 90 89 88 87 86 85 84 83 82 81 80 79 78 77 76 75 74 73 | 大師の生涯と其宗教 | 杉山真恭 |
| 111 曼荼羅図鑑の研究 | 森田龍儀 | 日本支那淨土門聖典 |
| 112 密宗學報 | 辻本鉄夫 | 國訖大藏經 |
| 113 宇宣社 | 宇宣社 | 國訖大藏經 |
| 114 仏教信仰実話 | 南條文雄 | 國訖大藏經 |
| 115 仏教信仰実話全集 | 三田老人求道物語 | 國訖大藏經 |
| 116 南山冥想録 | 天童寺 | 國訖大藏經 |
| 117 亂世の傳説 | 中谷在禅 | 國訖大藏經 |
| 118 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 119 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 120 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 121 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 122 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 123 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 124 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 125 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 126 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 127 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 128 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 129 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 130 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 131 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 132 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 133 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 134 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 135 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 136 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 137 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 138 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 139 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 140 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 141 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 142 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 143 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 144 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 145 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 146 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 147 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 148 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 149 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 150 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 151 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 152 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 153 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 154 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 155 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 156 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 157 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 158 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 159 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 160 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 161 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 162 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 163 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 164 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 165 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 166 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 167 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 168 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 169 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 170 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 171 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 172 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 173 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 174 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 175 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 176 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 177 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 178 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 179 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 180 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 181 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 182 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 183 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 184 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 185 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 186 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 187 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 188 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 189 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 190 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 191 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 192 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 193 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 194 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 195 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 196 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 197 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 198 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 199 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 200 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 201 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 202 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 203 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 204 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 205 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 206 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 207 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 208 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 209 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 210 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 211 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 212 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 213 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 214 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 215 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 216 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 217 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 218 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 219 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 220 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 221 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 222 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 223 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 224 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 225 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 226 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 227 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 228 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 229 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 230 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 231 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 232 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 233 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 234 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 235 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 236 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 237 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 238 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 239 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 240 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 241 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 242 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 243 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 244 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 245 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 246 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 247 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 248 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 249 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 250 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 251 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 252 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 253 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 254 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 255 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 256 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 257 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 258 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 259 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 260 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 261 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 262 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 263 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 264 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 265 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 266 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 267 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 268 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 269 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 270 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 271 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 272 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 273 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 274 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 275 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 276 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 277 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 278 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 279 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 280 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 281 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 282 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 283 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 284 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 285 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 286 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 287 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 288 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 289 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 290 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 291 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 292 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 293 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 294 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 295 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 296 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 297 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 298 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 299 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 300 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 301 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 302 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 303 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 304 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 305 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 306 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 307 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 308 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 309 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 310 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 311 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 312 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 313 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 314 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 315 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 316 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 317 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 318 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 319 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 320 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 321 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 322 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 323 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 324 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| 325 佐藤信玄 | 佐藤信玄 | 國訖大藏經 |
| | | |

赤尾照文堂

〒604 京都市中京区河原町通六角下ル

下 604 京都市中京区河原町通六角下ル

京都地域史の研究

秋山國三先生追悼会編 故秋山國三(同志社大学教授)を追悼する、古代より近・現代に及ぶ(京都のまちの)歴史論集。執筆者一仲村研、朝尾直弘、安岡重明他16名。9月末刊 A5・上製函入 七〇〇〇円

百済史研究

百済史研究会編 古代日本文化の源泉である百済。その制度・文化等に関する李内慈・黄壽永等韓国第一線研究者による論文集。古代史研究者必読の基本書。

9月末刊 A5・上製函入 一二〇〇〇円

内陸アジア史論集 第二

内陸アジア史学会編 独自の歴史と文化を有する内陸アジアに関する研究論文集。一九六二年以降の「遊牧社会史探求」より十四編を厳選して収録した待望の第二集。9月末刊 A5・上製函入 五〇〇〇円

中国歴代皇帝文献目録

国書刊行会編 始皇帝より宣統帝溥儀まで、中国歴代の皇帝・王朝始祖に関する即位順の文献目録。明治・民国初年より今日迄の論著を対象とし、著者別目録を付す。9月20日刊 A5・上製函入 四五〇〇円

地相・家相大鑑

中村茂樹著 「より住みよい家づくり」という立場から、迷信・邪説の多い地相・家相を科学的に検討、写真・図版を多用して具体的に説明した家づくりの参考書。9月末刊 B5・上製函入 八〇〇〇円

国書刊行会

〒170 東京都豊島区巣鴨3-5-18 TEL 03-917-8287

●般庵野間光辰先生古稀記念 ● 上方藝文叢刊行会編

上方藝文叢刊

第一期書目 (配本順)

一 上方俳書集(上)

大谷篤藏

二 上方役者一代記集

土田衛他

三 河内鑑名所記

三田 章

昭和五十四年十月より配本開始

四 浪華詩文稿(上)

水田 紀久

五 浪華詩文稿(下)

水田 紀久

六 名家門人錄集

宗政五十緒

七 中島棕隱集

多治比郁夫

八 上方咄本集

野間光辰

九 上方俳書集(下)

肥田皓三

十 浪華粹人伝

大内田貞郎

十一 上方歌書集

金子和正

京 阪 書 房
中 尾 松 泉 堂 書 店
萬 字 屋 書 店

全巻御購入を原則とします
第一期十巻十二冊限定出版
B6版及びA5判上製タ
ロス装・カバー付
価格は一冊三、五〇〇
六、〇〇〇円程度

申込御案内

上野洋三
多治比郁夫
▼ 詳細内容見本をご請求下さい。
京都古書研究会加盟店

上村六郎染色著作集

予約殺到!!

[内容見本里]

全六巻

日本染織学界の巨匠・上村染色学の全

を堂々ここに刊行!!

染織学界の大先達である著者の永年に亘る

染色研究・多方面に亘る発表論文の集成!

本書は著者が化学的な知識を基礎に、染色に関する古い文献を涉獵し我が国はもちろん、中国・インド・中東・ペルシアからインンドネシア等の染色にわたる広汎な研究を駆使して、染色研究の盲点ともいえる染色の過程の曖昧さに化学的解明の光を投げかけた好著である。又他の染織論とは異なり色という視点から捕えられた独自の書でもある。不朽の清新さで輝き続けるであろう代に生きる染織家にお送りする。

| | | | | |
|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 第六卷 | ■定価 第六卷 五〇〇円 | ■体裁 染色隨筆 | ■定価 第六卷 五〇〇円 | ■定価 第六卷 五〇〇円 |
| 第五卷 | ■定価 第五卷 五〇〇円 | ■定価 第五卷 五〇〇円 | ■定価 第五卷 五〇〇円 | ■定価 第五卷 五〇〇円 |
| 第四卷 | ■定価 第四卷 五〇〇円 | ■定価 第四卷 五〇〇円 | ■定価 第四卷 五〇〇円 | ■定価 第四卷 五〇〇円 |
| 第三卷 | ■定価 第三卷 五〇〇円 | ■定価 第三卷 五〇〇円 | ■定価 第三卷 五〇〇円 | ■定価 第三卷 五〇〇円 |
| 第二卷 | ■定価 第二卷 五〇〇円 | ■定価 第二卷 五〇〇円 | ■定価 第二卷 五〇〇円 | ■定価 第二卷 五〇〇円 |
| 第一卷 | ■定価 第一卷 五〇〇円 | ■定価 第一卷 五〇〇円 | ■定価 第一卷 五〇〇円 | ■定価 第一卷 五〇〇円 |

民族と染色文化

上代文学に現れたる色名

日本古代染草考

萬葉染色・萬葉染色の研究

村々の民俗と染色

村々の民俗と染色

染色隨筆

ハワイ・アメリカ民芸の旅

旅つれづれ・越後・佐渡

民芸の旅・丹波布

A5判・各巻平均五〇〇頁

各巻五、五〇〇円・七、〇〇〇円

〒606 京都市左京区田中鴨田町2-7

☎075-751-1781

〒101 東京都千代田区三崎町2-20

☎03-263-6348

富士川游著作集

全十卷

第1巻 十一月中旬刊行

日本医史学という前人未踏の分野に挑み、疾患史と共に日本医学史を体系化した富士川游医史学の全業績を網羅!!

その学問・思想は東西般に亘る一代の碩学であり、單行書・諸雑誌に掲載された論考東西医家の伝記類等の数は夥しい。本書はその中から特に、医史学関係の著作・伝記・考證類をことごとく収録するものである。今後の日本文化史研究に、基礎文献の大集成として学界を益する事甚大。医学界の方々は言うに及ばず、日本歴史、風俗・民俗学の方々にも必読の書である。

■定価 第一卷 五、五〇〇円
各巻平均五、五〇〇円



予約
募
集

予約特価期限 54年12月20日
第一回配本11月刊行!

明

与謝野晶子生誕百年記念限定出版

自創刊号(明治33年)
至百号(明治41年)終刊迄
別冊解説 文学吉田精一

著者 吉田精一



極上紬織四手帙入

回全百冊(十秩)を三回に分けて配本いたします(各回配本時にお支払い下さい)

第一回配本(新聞版第1号~明治36年)54年11月 特価一一〇、〇〇〇円
第二回配本(新聞版第2号~明治37年)55年2月(予定) 特価九〇、〇〇〇円
第三回配本(新聞版第3号~明治38年)55年4月(予定) 特価九〇、〇〇〇円

■全巻原寸大(新聞版A3判・本巻B5判)・原装復元
■插画及び絵白八十八葉(多色刷八十八葉・單色刷白二十九葉)

※詳細内容見本をご請求下さい。
回第一次(全百冊完結後、引き続き「第二次明星」全四十八冊)を刊行予定です。

臨川書店 本社 東京支店 千代田区飯田橋四一七六 暮ビル 03-263-6166-4329(代)